

資料 1

山形労働局

【最近の雇用情勢及び地域の訓練ニーズについて】

最近の雇用情勢について (令和7年9月)

【資料1-1】

山形労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移（季節調整値）

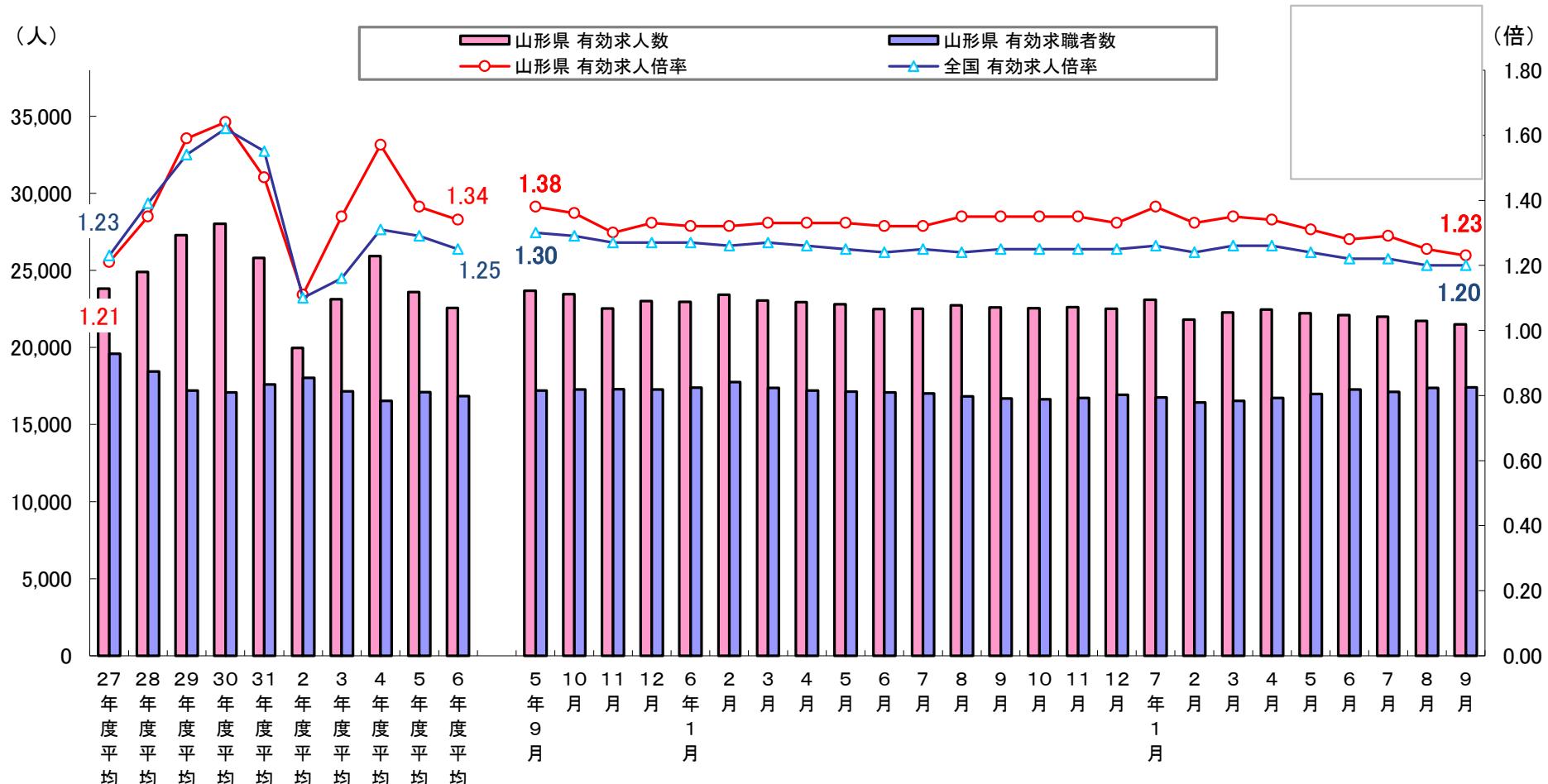
令和7年9月の有効求人数は5か月連続で減少し、有効求職者数は2か月連続で増加した。

有効求人倍率は1.23倍となり、前月を0.02ポイント下回り、2か月連続で低下した。

正社員の有効求人倍率（原数値）は1.12倍となり、前年同月を0.09ポイント下回った。

全国の有効求人倍率は1.20倍（前月比±0.00P）、正社員有効求人倍率（原数値）は1.00倍（前年同月比▲0.01P）となった。

山形県内の雇用情勢は、持ち直しの動きに弱さがみられる。今後とも、物価高騰等が雇用に与える影響に留意する必要がある。



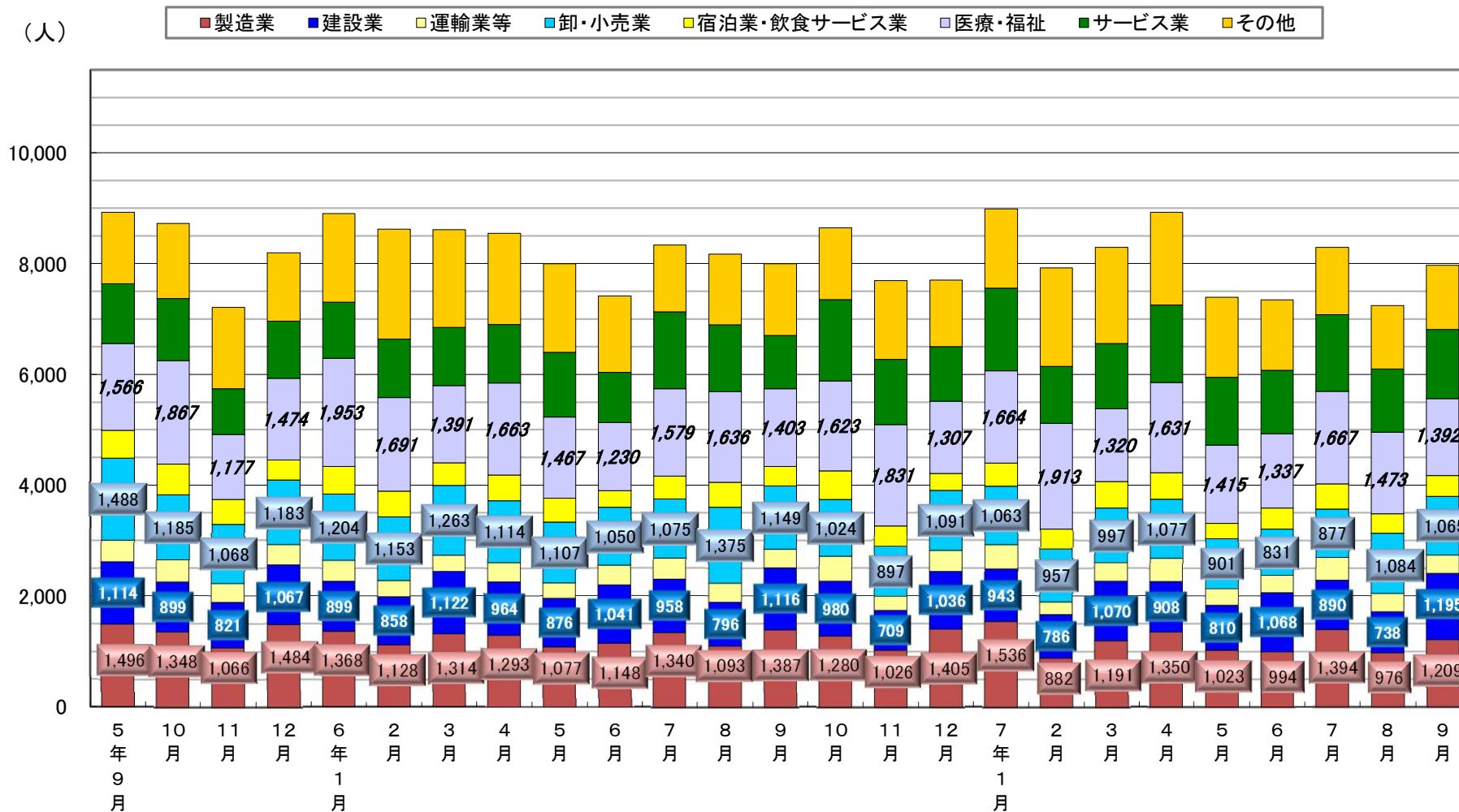
（注）年度平均は原数値である。なお、令和6年12月以前の数値は、令和7年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

II 新規求人の状況（学卒を除きパートタイムを含む全数；原数値）

9月の新規求人数 [パートタイムを含む全数]（原数値）は、7,972人で、前年同月と比較すると0.3%減となり、5か月連続の減少となつた。

これを主な産業別でみると、建設業(1,195人、同7.1%増)、宿泊業・飲食サービス業(369人、5.1%増)、サービス業(1,246人、30.2%増)で増加し、製造業(1,209人、同12.8%減)、運輸業・郵便業(332人、同1.5%減)、卸売業・小売業(1,065人、同7.3%減)、医療・福祉(1,392人、0.8%減)で減少となった。

なお、正社員に係る新規求人数は、4,213人で、前年同月と比較すると3.5%減となり、新規求人数に占める割合は52.8%で前年同月と比較すると1.8ポイント下回った。

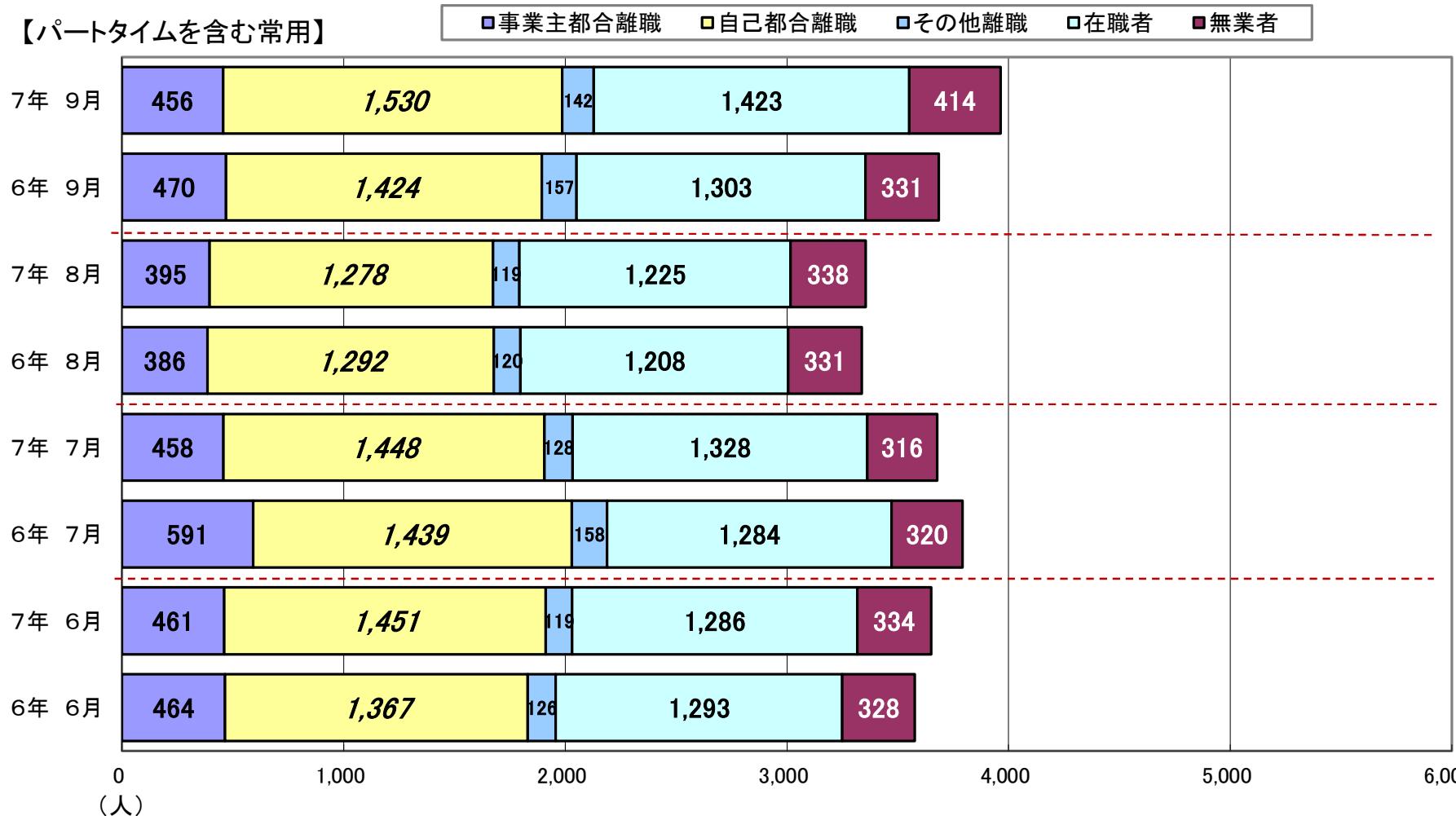


III 新規求職の状況（学卒を除きパートタイムを含む全数及び常用；原数値）

9月の新規求職申込件数 [パートタイムを含む全数]（原数値）は、4,005件（うちハローワーク利用登録件数 3,933件）で、前年同月と比較すると7.5%増となり、2か月連続で増加した。

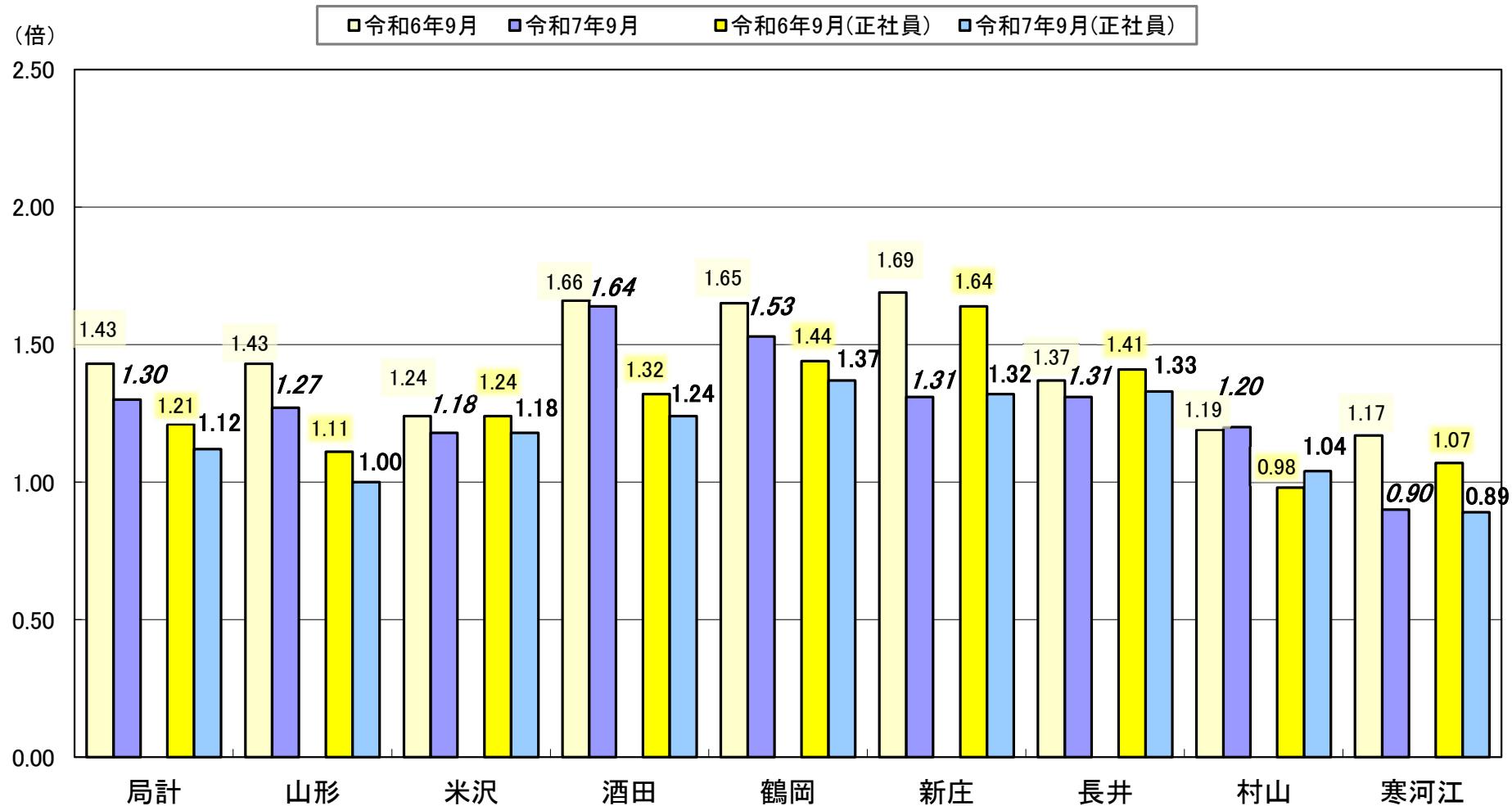
これを態様別[パートタイムを含む常用]にみると、離職者（2,128人、前年同月比3.8%増）は、3か月ぶりに増加し、離職者のうち、事業主都合離職者（456人、同3.0%減）は、2か月ぶりの減少となった。

また、在職者（1,423人、同9.2%増）は3か月連続の増加となり、無業者（414人、同25.1%増）は、2か月連続の増加となった。



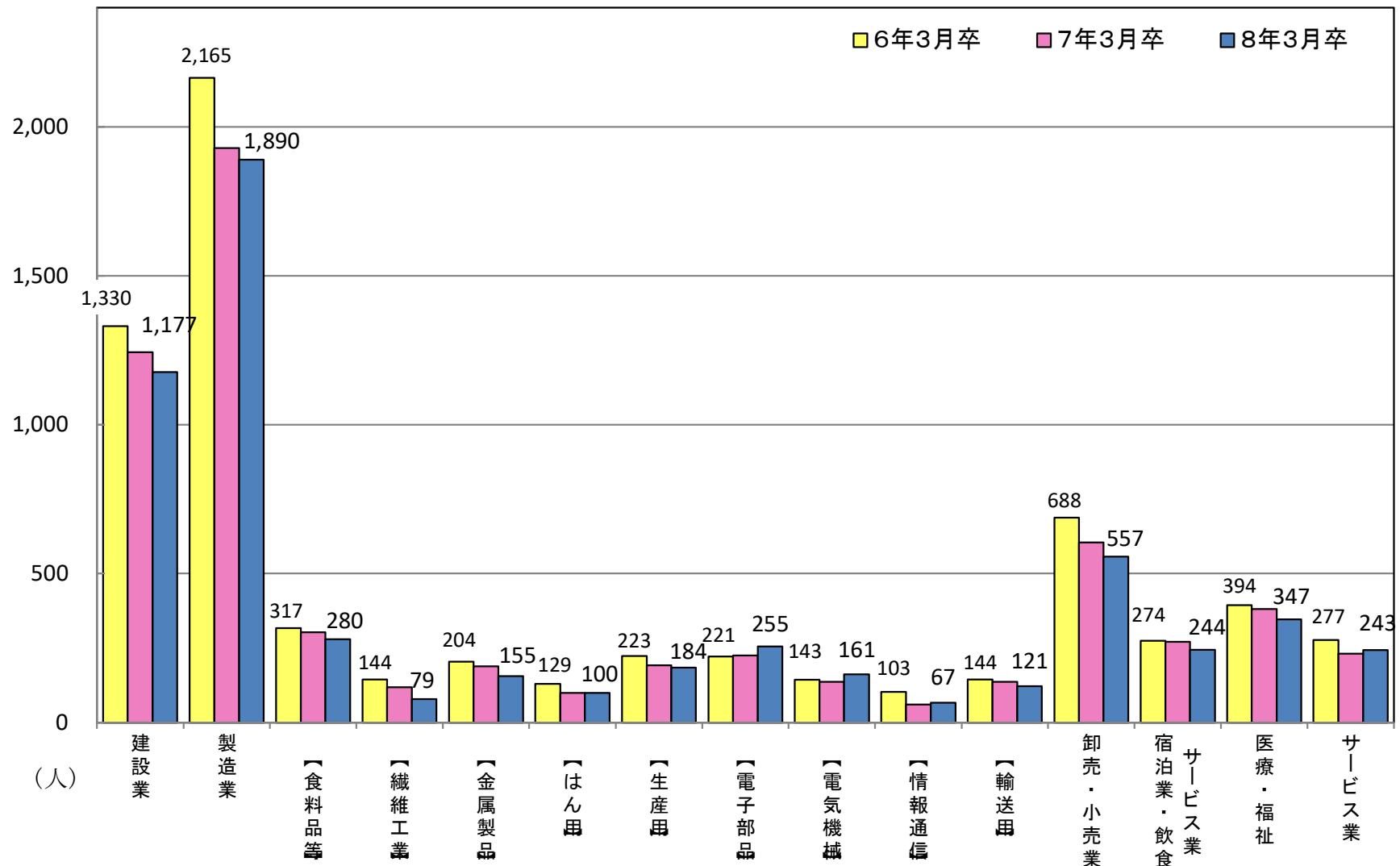
IV 安定所別有効求人倍率の状況（学卒を除きパートタイムを含む全数；原数値）

9月の有効求人倍率 [パートタイムを含む全数；原数値] は1.30倍となり、前年同月を0.13ポイント下回り、5か月連続で低下した。正社員に係る有効求人倍率（原数値）は、1.12倍で、前年同月を0.09ポイント下回り、2か月連続で低下した。



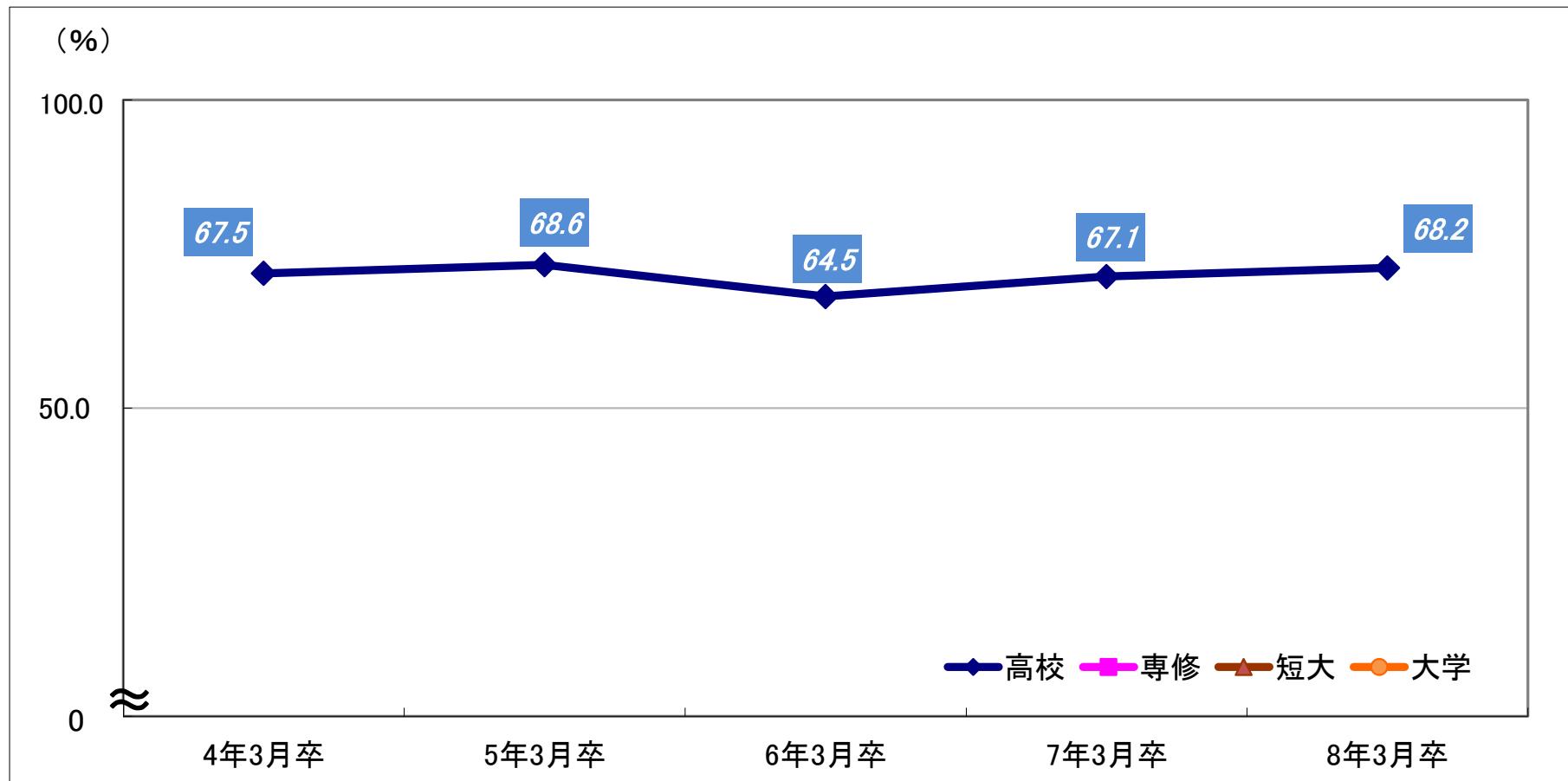
V 新規高校卒業者(令和8年3月卒業)の求人(県内)の状況【9月末】

9月末現在の新規高卒者に係る県内事業所からの求人件数は5,425人（前年同期比3.4%減）となっている。主な業種の状況は、建設業（同5.4%減）、製造業（同2.0%減）、卸売業、小売業（同7.9%減）、医療、福祉（同8.9%減）となっている。



VI 新規学卒者(令和8年3月卒業)就職状況【9月末現在】

9月末現在における高卒内定者数は1,232人（うち県内909人）で、就職内定率は68.2%となっている。



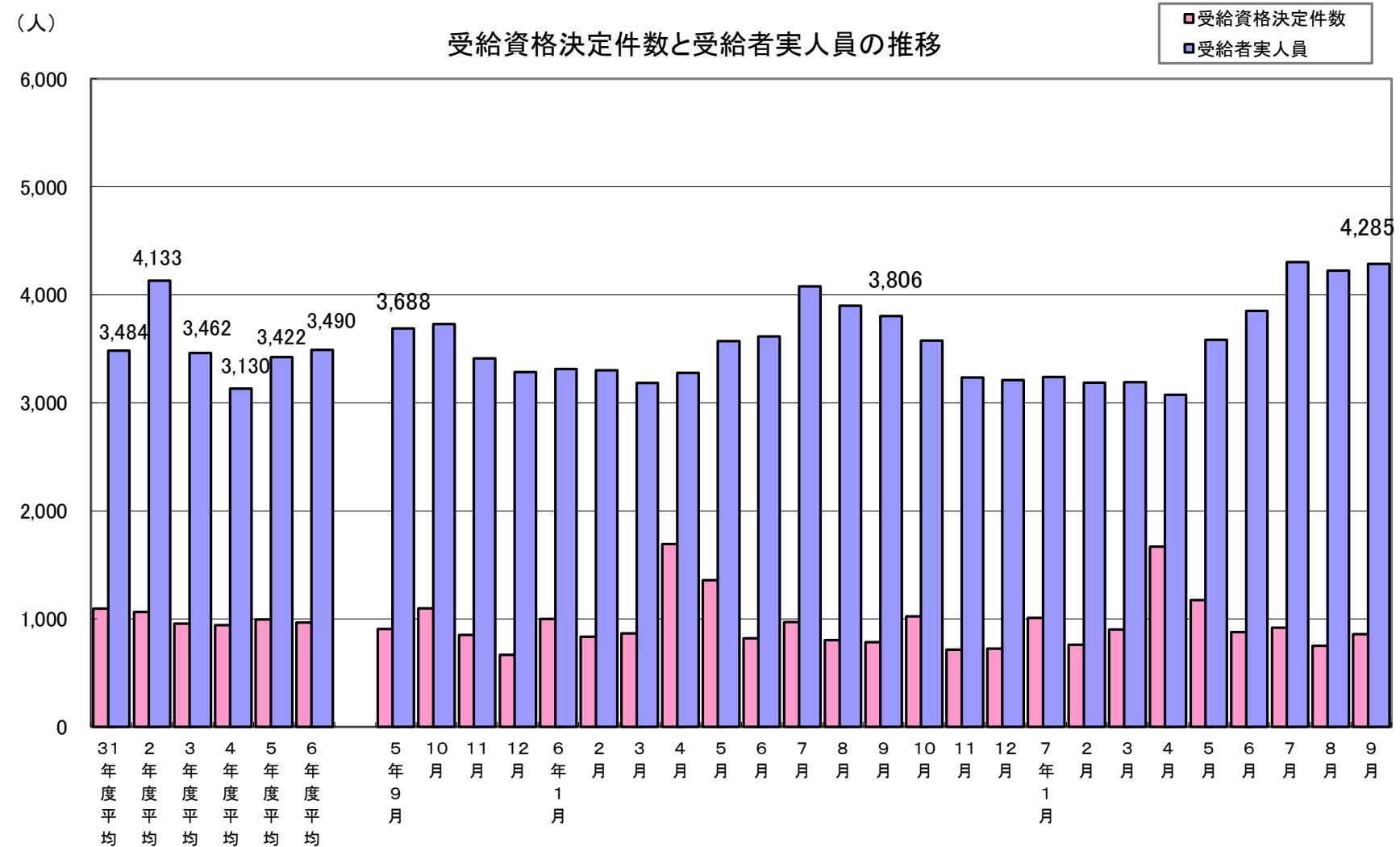
	4年3月卒		5年3月卒		6年3月卒		7年3月卒		8年3月卒	
	求職者数	内定者数								
高等学校	2,016	1,361	2,007	1,376	1,755	1,132	1,797	1,205	1,806	1,232
専修学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

VII 雇用保険の状況

9月の一般受給資格決定件数は859件（前年同月比9.7%増）となった。

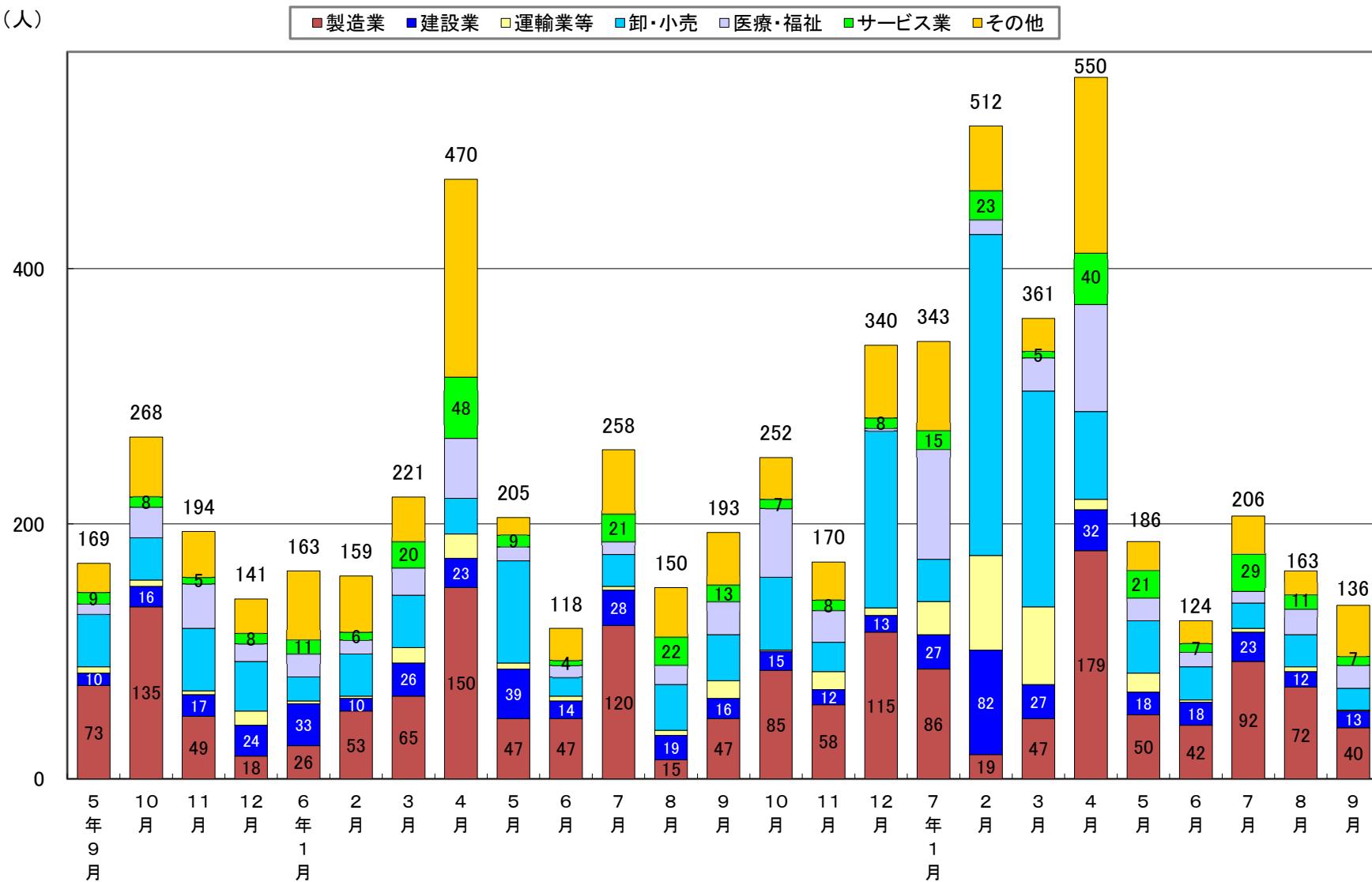
受給者実人員（基本手当分）は、4,285人（前年同月比12.6%増）となり、5か月連続で増加した。被保険者資格喪失者のうち、事業主都合離職者（高年齢、短期特例被保険者を除く）は136人（前年同月比29.5%減）となった。

※一般受給資格決定件数は、「速報値」であり修正があり得る。



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

(人)



ハローワークで把握した求職者の職業訓練ニーズ（令和7年度）

訓練分野	希望する訓練の内容（主なもの）	希望者数（概数）
I T ・ デジタル	<ul style="list-style-type: none"> ・Webデザイン、HP制作 ・Webコンテンツ制作 ・グラフィックデザイン（イラストレーター、フォトショップ） ・プログラミング（Java・python等） 	約40名
事務・ パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ・ワード、エクセル、パワーポイントの基本的操作 ・ワード、エクセルの基本～中級程度 ・パソコンの基礎訓練 ・初心者向けOAシステム科（基礎操作重点） ・事務系に限らず販売・営業等で活用できるワード、エクセル等のスキル ・パソコンの中級以上のスキルアップ訓練 ・エクセルを中心にV B A、マクロ等実務で使いこなせるスキル 	約180名
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員初任者研修 	約30名
経理・会計	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記2級～3級程度の資格取得 ・会計ソフトの操作、給与計算など 	約70名
販売	<ul style="list-style-type: none"> ・登録販売者の資格取得 	若干名
C A D	<ul style="list-style-type: none"> ・機械系C A D ・建築系C A D 	若干名

※ハローワークでの職業相談の際に求職者から聞き取ったもの。

ハローワークで把握した事業所の職業訓練ニーズ（令和7年度）

訓練分野	希望する訓練の内容（主なもの）	希望者数（概数）
介護	・介護職員初任者研修 ・実務者研修	約40名
NC生産システム	・NC工作機械（マシニング）での工作作業、プログラミング	約10名
金属溶接	・アーク・ガス溶接、ステンレス鋼溶接、溶断等	約20名
事務・パソコン	・職種を問わず共通するパソコンスキル（ワード・エクセル） ・OAシステム科	約100名
経理	・簿記の資格取得	約40名
ＩＴ・デザイン	・Webデザイン、Webシステム開発	若干名

※ハローワークでの求人受付等の際に事業所から聞き取ったもの。

ハローワークが地域に必要と考える職業訓練（令和7年度）

訓練分野	必要とする訓練の内容、効果的と思われる理由（主なもの）
事務・パソコン	<ul style="list-style-type: none">・求職者が自己のパソコンスキルを振り返り（求人側が求めるスキルであるか）訓練受講によって再確認ができるため、自信をもって応募～就職が期待される・事務職に限らず、様々な職種でパソコン基本操作スキルを必須とする求人が多い・年齢を問わずパソコンの基本操作を身につけてから就職を希望する求職者が多いため・年間を通してパソコンのスキルアップに関する訓練相談がある
登録販売	<ul style="list-style-type: none">・登録販売者資格が応募要件のドラッグストア販売員の求人が増えている・無資格者が応募できない状況もあり、資格取得が応募につながるため
経理・会計	<ul style="list-style-type: none">・一般事務でも経理知識が求められる求人（仕事内容）が一定数あるため・事務職を希望する求職者に応募の選択肢が増える・簿記の資格取得と併せて学びたい者が一定数いるため
介護	<ul style="list-style-type: none">・応募条件で介護職員初任者研修の資格を要する求人が多い・介護関係の求人数が多く、関心をもつ求職者がいるため・訓練終了後の就職率が非常に高い
IT・デジタル	<ul style="list-style-type: none">・Web関連ではイラストレーター・フォトショップ、HTMLが必須要件の求人も多い
福祉系	<ul style="list-style-type: none">・無資格者であっても必要な知識、技能を身につけることで、保育補助者や施設給食調理補助者として保育園や介護施設等の応募につながる

※ハローワークの担当者から報告を受けたもの。

資料2

【令和6年度・令和7年度ハロートレーニングの実績について】

山形労働局

山形県

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 山形支部

ハロートレーニング（離職者向け）の令和6年度実績

1 異職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模

06_山形		総計		
分野		コース数	定員	受講者数
公共職業訓練（離職者向け）実践コース	IT分野	5 (0)	80 (0)	71 (2)
	営業・販売・事務分野	53 (-4)	737 (-11)	549 (-56)
	医療事務分野	8 (0)	90 (0)	61 (2)
	介護・医療・福祉分野	14 (0)	104 (-17)	45 (-11)
	農業分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	旅行・観光分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	デザイン分野	3 (-1)	43 (-11)	40 (-14)
	製造分野	15 (0)	172 (-4)	107 (-26)
	建設関連分野	9 (0)	90 (0)	66 (8)
	理容・美容関連分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	その他分野	4 (0)	40 (0)	78 (-10)
	基礎	15 (-1)	195 (-15)	135 (-19)
公共職業訓練（離職者向け）基礎訓練	合計	126 (-6)	1,551 (-58)	1,152 (-124)
	(参考) デジタル分野	16 (-2)	211 (-19)	178 (-10)

※数値は速報値のため、今後変動の可能性があります。()は、前年度比の数値となります。

用語の定義

※本資料における用語は、以下のとおり定義しています。

「コース数」

公共職業訓練については、当該年度中に開講したコース及び当該年度以前から開始し当該年度に実施した訓練コースの数(当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含む)。

求職者支援訓練については当該年度中に開講したコースの数。

「定員」

当該年度中に開講した訓練コースの定員の数。

「受講者数」

当該年度中に開講したコースに入校した者の数。

「応募倍率」

当該訓練の定員を100とした時の、受講を申し込んだ者の数の倍率。

「定員充足率」

当該訓練の定員に対する受講者数の割合。

「就職率」

訓練を修了した者のうち就職した者の割合。分母については受講者数から中途退校者数(中途退校就職者数を除く)等を差し引き、分子については中途退校就職者を加えている。

「デジタル分野」

IT分野(ITエンジニア養成科など。情報ビジネス科を除く。)、デザイン分野(WEBデザイン系のコースに限る)等。

2 離職者向けの公的職業訓練の制度別、分野別訓練の実施状況

分野		公共職業訓練(山形県:委託訓練)						求職者支援訓練					
		コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
+公共職業訓練(求職者支援訓練)(離職者実践コース)	IT分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	5 (0)	80 (0)	71 (2)	221.3% (83.8)	88.8% (2.5)	46.2% (0.5)
	営業・販売・事務分野	35 (3)	455 (35)	356 (5)	94.3% (-13.3)	78.2% (-5.4)	61.8% (-4.3)	18 (-7)	282 (-46)	193 (-61)	83.0% (-4.2)	68.4% (-9.0)	55.4% (-8.7)
	医療事務分野	6 (1)	65 (15)	42 (5)	75.4% (-26.6)	64.6% (-9.4)	82.9% (-4.3)	2 (-1)	25 (-15)	19 (-3)	88.0% (30.5)	76.0% (21.0)	18.8% (-52.0)
	介護・医療・福祉分野	13 (0)	94 (-17)	37 (-12)	47.9% (1.1)	39.4% (-4.7)	88.2% (4.5)	1 (0)	10 (0)	8 (1)	80.0% (10.0)	80.0% (10.0)	62.5% (-1.8)
	農業分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
	旅行・観光分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
	デザイン分野	1 (0)	15 (0)	15 (0)	153.3% (-46.7)	100.0% (0.0)	60.0% (-13.3)	2 (-1)	28 (-11)	25 (-14)	114.3% (-6.2)	89.3% (-10.7)	56.7% (30.8)
	製造分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
	建設関連分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
	理容・美容関連分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
	その他分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- -	- -	- -
コ～支援求職者基礎訓練	基礎	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	15 (-1)	195 (-15)	135 (-19)	79.5% (-4.8)	69.2% (-4.1)	55.9% (0.7)
	合計	55 (4)	629 (33)	450 (-2)	86.8% (-11.4)	71.5% (-4.3)	65.6% (-4.4)	43 (-10)	620 (-87)	451 (-94)	101.3% (9.4)	72.7% (-4.4)	
	(参考) デジタル分野	1 (0)	15 (0)	15 (0)	153.3% (-46.7)	100.0% (0.0)	60.0% (-13.3)	6 (-2)	100 (-19)	91 (-17)	204.0% (72.1)	91.0% (0.2)	50.7% (10.5)

分 野	公共職業訓練(山形県:施設内訓練)						公共職業訓練(ポリテクセンター山形)					
	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
IT分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
営業・販売・事務分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
医療事務分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
介護・医療・福祉分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
農業分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
旅行・観光分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
デザイン分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
製造分野	1 (0)	20 (0)	6 (-1)	45.0% (0.0)	30.0% (-5.0)	100.0% (14.3)	14 (0)	152 (-4)	101 (-25)	78.9% (-7.0)	66.4% (-14.4)	81.6% (-5.8)
建設関連分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	9 (0)	90 (0)	66 (8)	78.9% (10.0)	73.3% (8.9)	84.6% (-4.7)
理容・美容関連分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-
その他分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	4 (0)	40 (0)	78 (-10)	210.0% (-20.0)	195.0% (-25.0)	-
合計	1 (0)	20 (0)	6 (-1)	45.0% (0.0)	30.0% (-5.0)	100.0% (14.3)	27 (0)	282 (-4)	245 (-27)	97.5% (-3.2)	86.9% (-8.2)	82.7% (-5.3)
(参考) デジタル分野	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	-	-	9 (0)	96 (0)	72 (7)	77.1% (4.2)	75.0% (7.3)	85.7% (1.3)

ハロートレーニング（離職者向け）の令和7年度実績（令和7年9月末）

1 離職者向けの公的職業訓練の分野別訓練規模

06_山形		総数		
分野		コース数	定員	受講者数
+ 共 職 業 訓 練 （ 離 職 者 向 け ） 求 職 者 支 援 訓 練 （ 離 職 者 向 け ） 実 践 （ 離 職 者 向 け ） 求 職 者 支 援 訓 練 （ 離 職 者 向 け ） 基 礎 （ 離 職 者 向 け ）	IT分野	3	45	34
	営業・販売・事務分野	30	369	306
	医療事務分野	7	77	48
	介護・医療・福祉分野	11	51	25
	農業分野	0	0	0
	旅行・観光分野	0	0	0
	デザイン分野	5	63	48
	製造分野	10	96	60
	建設関連分野	6	45	36
	理容・美容関連分野	0	0	0
	その他分野	2	20	38
	基礎	4	49	38
合計		78	815	633
(参考) デジタル分野		13	148	112

用語の定義

※本資料における用語は、以下のとおり定義しています。

「コース数」

公共職業訓練については、当該年度中に開講したコース及び当該年度以前から開始し当該年度に実施した訓練コースの数（当該年度以前に開講し、次年度に繰り越すコースを含む）。

求職者支援訓練については当該年度中に開講したコースの数。

「定員」

当該年度中に開講した訓練コースの定員の数。

「受講者数」

当該年度中に開講したコースに入校した者の数。

「応募倍率」

当該訓練の定員を100とした時の、受講を申し込んだ者の数の倍率。

「定員充足率」

当該訓練の定員に対する受講者数の割合。

「就職率」

訓練を修了等した者のうち就職した者の割合。分母については受講者数から中途退校者数（中途退校就職者数を除く）等を差し引き、分子については中途退校就職者を加えている。

「デジタル分野」

IT分野（ITエンジニア養成科など。情報ビジネス科を除く。）、デザイン分野（WEBデザイン系のコースに限る）等。

2 離職者向けの公的職業訓練の制度別、分野別訓練の実施状況（令和7年9月末）

分野		公共職業訓練(山形県:委託訓練)						求職者支援訓練					
		コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
公共職業訓練(離職者向け) +求職者支援訓練(離職者実践コース)	IT分野	0	0	0	-	-	-	3	45	34	102.2%	75.6%	-
	営業・販売・事務分野	18	205	169	103.9%	82.4%	-	12	164	137	124.4%	83.5%	-
	医療事務分野	6	65	42	67.7%	64.6%	-	1	12	6	58.3%	50.0%	-
	介護・医療・福祉分野	11	51	25	54.9%	49.0%	-	0	0	0	-	-	-
	農業分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	旅行・観光分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	デザイン分野	0	0	0	-	-	-	5	63	48	161.9%	76.2%	-
	製造分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	建設関連分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	理容・美容関連分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	その他分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
求職者基礎支援訓練 +基礎	基礎	-	-	-	-	-	-	4	49	38	93.9%	77.6%	-
合計		35	321	236	88.8%	73.5%	-	25	333	263	121.6%	79.0%	
(参考) デジタル分野		0	0	0	-	-	-	7	100	79	145.0%	79.0%	-

分野	公共職業訓練(山形県:施設内訓練)						公共職業訓練(ポリテクセンター山形)					
	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率	コース数	定員	受講者数	応募倍率	定員充足率	就職率
IT分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
営業・販売・事務分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
医療事務分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
介護・医療・福祉分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
農業分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
旅行・観光分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
デザイン分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
製造分野	1	20	6	35.0%	30.0%	-	9	76	54	75.0%	71.1%	-
建設関連分野	0	0	0	-	-	-	6	45	36	86.7%	80.0%	-
理容・美容関連分野	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
その他分野	0	0	0	-	-	-	2	20	38	200.0%	190.0%	-
合計	1	20	6	35.0%	30.0%	-	17	141	128	96.5%	90.8%	-
(参考) デジタル分野	0	0	0	-	-	-	6	48	33	72.9%	68.8%	-

公共職業訓練の実施状況(令和6年度及び令和7年度上半期)

1. 施設内訓練(学卒者・離職者)

(1) 学卒者訓練

令和7年9月30日現在

訓練科名	訓練課程	令和6年度						令和7年度(上半期)							
		定員	入校者	中退者	修了者	就職希望者	就職者	就職率	定員	入校者	中退者	在校者	就職希望者	就職内定者・就職者	就職率
デジタルエンジニアリング科(1年次)	長期 高度 (専門)	10	9	3	6	-	-	-	10	5	-	5	-	-	-
デジタルエンジニアリング科(2年次)		10	11	1	10	10	10	100.0%	10	6	-	6	6	100.0%	
メカトロニクス科(1年次)		20	18	2	15	-	-	-	20	12	-	12	-	-	-
メカトロニクス科(2年次)		20	21	-	21	19	19	100.0%	20	15	-	15	14	13	92.9%
知能電子システム科(1年次)		30	25	3	22	-	-	-	30	32	-	32	-	-	-
知能電子システム科(2年次)		30	30	-	30	28	27	96.4%	30	22	-	22	19	16	84.2%
情報システム科(1年次)		20	20	1	19	-	-	-	20	20	-	20	-	-	-
情報システム科(2年次)		20	21	1	20	19	19	100.0%	20	19	-	19	16	13	81.3%
建築環境システム科(1年次)		20	20	-	20	-	-	-	20	16	-	16	-	-	-
建築環境システム科(2年次)		20	17	-	17	16	16	100.0%	20	20	-	20	18	18	100.0%
土木エンジニアリング科(1年次)		20	12	-	12	-	-	-	20	14	-	14	-	-	-
土木エンジニアリング科(2年次)		20	15	-	15	12	12	100.0%	20	12	-	12	12	12	100.0%
産業技術専攻科	短期・専門	10	6	-	6	-	-	-	10	4	-	4	-	-	-
校合計		250	225	11	213	104	103	99.0%	250	197	0	197	85	78	-

訓練科名	訓練課程	令和6年度						令和7年度(上半期)							
		定員	入校者	中退者	修了者	就職希望者	就職者	就職率	定員	入校者	中退者	在校者	就職希望者	就職内定者・就職者	就職率
生産エンジニアリング科(1年次)	長期 高度 (専門)	20	5	-	5	-	-	-	20	7	-	7	-	-	-
生産エンジニアリング科(2年次)		20	6	-	6	6	6	100.0%	20	5	-	5	5	100.0%	
情報通信システム科(1年次)		20	9	-	8	-	-	-	20	18	-	18	-	-	-
情報通信システム科(2年次)		20	13	-	13	13	13	100.0%	20	8	-	8	8	7	87.5%
IT会計ビジネス科(1年次)		20	13	1	12	-	-	-	20	11	-	11	-	-	-
IT会計ビジネス科(2年次)		20	13	-	13	12	12	100.0%	20	12	-	12	12	6	50.0%
校合計		120	59	1	57	31	31	100.0%	120	61	0	61	25	18	-

訓練科名	訓練課程	令和6年度						令和7年度(上半期)							
		定員	入校者	中退者	修了者	就職希望者	就職者	就職率	定員	入校者	中退者	在校者	就職希望者	就職内定者・就職者	就職率
自動車科(1年次)	長期 普通 (普通)	25	21	1	20	-	-	-	25	15	2	13	-	-	-
自動車科(2年次)		25	22	-	22	21	21	100.0%	25	20	-	20	20	20	100.0%
建設技術科(1年次)		20	7	1	6	-	-	-	20	17	1	16	-	-	-
建設技術科(2年次)		20	6	-	6	6	6	100.0%	20	6	-	6	6	0	0.0%
校合計		90	56	2	54	27	27	100.0%	90	58	3	55	26	20	-

(2) 離職者訓練

訓練科名	訓練課程	令和6年度						令和7年度(上半期)							
		定員	入校者	中退者	修了者	就職希望者	就職者	就職率	定員	入校者	中退者	在校者	就職希望者	就職内定者・就職者	就職率
金属技術科	短期・普通	20	6	2	4	4	4	100.0%	20	6	1	5	5	0	0.0%
校合計		20	6	2	4	4	4	100.0%	20	6	1	5	5	0	-

2 在職者訓練

(1) 公開講座	令和6年度(計画)			令和6年度(実績)			令和7年度(計画)			令和7年度(実績)上半期		
	校名	コース数	定員	校名	コース数	受講者	校名	コース数	定員	校名	コース数	受講者
産業技術短期大学校	22	124	-	16	-	67	22	126	10	32	-	-
産業技術短期大学校庄内校	13	65	-	8	-	19	12	60	7	14	-	-

(2) 向上訓練	令和6年度(計画)			令和6年度(実績)			令和7年度(計画)			令和7年度(実績)上半期		
	校名	コース数	定員	校名	コース数	受講者	校名	コース数	定員	校名	コース数	受講

◆公共職業訓練（離職者訓練）実績

（1）令和6年度実績（確定値）

区分／科名	訓練計画		実施状況			
	開講月	年間定員	定員	入所者	定員充足率	就職率
離職者訓練（募集科名）計		282人	282人	245人	86.9%	82.7%
標準コース（アビリティコース）計		212人	212人	157人	74.1%	82.4%
CAD・NCものづくり科	6,12	36人（各18人）	36人	28人	77.8%	90.3%
溶接施工科	4,10	26人（各13人）	26人	9人	34.6%	88.9%
電気設備技術科	6,9,12,3	60人（各15人）	60人	54人	90.0%	74.1%
福祉住環境サービス科	7,1	30人（各15人）	30人	22人	73.3%	88.5%
建築CAD施工科	5,8,11,2	60人（各15人）	60人	44人	73.3%	82.1%
企業実習付コース（短期デュアル）計		30人	30人	10人	33.3%	88.9%
NCオペレーション科	9,3	30人（各15人）	30人	10人	33.3%	88.9%
導入訓練（橋渡し訓練）計		40人	40人	78人	195.0%	-
CAD・NCものづくり科	5,11	10人（各5人）	10人	27人	270.0%	-
NCオペレーション科DS	8,2	10人（各5人）	10人	5人	50.0%	-
電気設備技術科	5,8,11,2	20人（各5人）	20人	46人	230.0%	-

※離職者訓練計は、それぞれの訓練実績の合計であるが、「導入訓練（橋渡し訓練）」は「標準コース」と組み合わせて実施していること。

※就職率は、訓練終了後3か月以内に就職した者の実績。

（2）令和7年度計画及び実績（令和7年10月末現在）

区分／科名	訓練計画		実施状況（10月末 速報値）			
	開講月	年間定員	定員	入所者	定員充足率	就職率
離職者訓練（募集科名）計		282人	154人	133人	86.4%	90.2%
標準コース（アビリティコース）計		212人	119人	84人	70.6%	90.2%
CAD・NCものづくり科	6,12	36人（各18人）	18人	12人	66.7%	100%
溶接施工科	4,10	26人（各13人）	26人	12人	46.2%	-
電気設備技術科	6,9,12,3	60人（各15人）	30人	24人	80.0%	78.6%
福祉住環境サービス科	7,1	30人（各15人）	15人	15人	100%	-
建築CAD施工科	5,8,11,2	60人（各15人）	30人	21人	70.0%	94.1%
企業実習付コース（短期デュアル）計		30人	15人	11人	73.3%	-
NCオペレーション科	9,3	30人（各15人）	15人	11人	73.3%	-
導入訓練（橋渡し訓練）計		40人	20人	38人	190%	-
CAD・NCものづくり科	5,11	10人（各5人）	5人	9人	180%	-
NCオペレーション科DS	8,2	10人（各5人）	5人	9人	180%	-
電気設備技術科	5,8,11,2	20人（各5人）	10人	20人	200%	-

※離職者訓練計は、それぞれの訓練計画数の合計であるが、「導入訓練（橋渡し訓練）」は「標準コース」と組み合わせて実施していること。

※就職率は、修了後3か月に計上されること。

(3) 離職者訓練の課題について

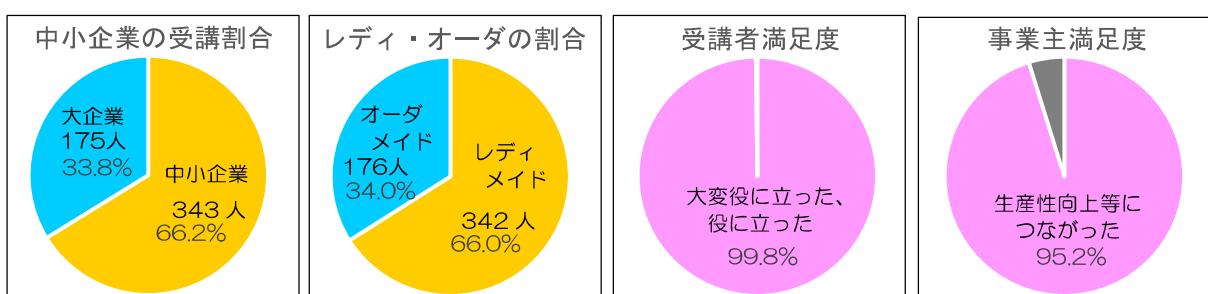
- ① 定員充足率の向上
→特に、溶接施工科、NCオペレーション科(企業実習付き)の2科。
- ② 就職率の向上
→特に、電気設備技術科、建築CAD施工科の2科。

◆公共職業訓練（在職者訓練）実績

(1) 令和6年度実績（確定値）

分野	計画数（年度当初）		実施状況	
	コース数	定員（人）	コース数	受講者（人）
機械系	44	446	43	264
電気・電子系	13	130	24	228
居住系	26	260	10	26
計	83	836	77	518

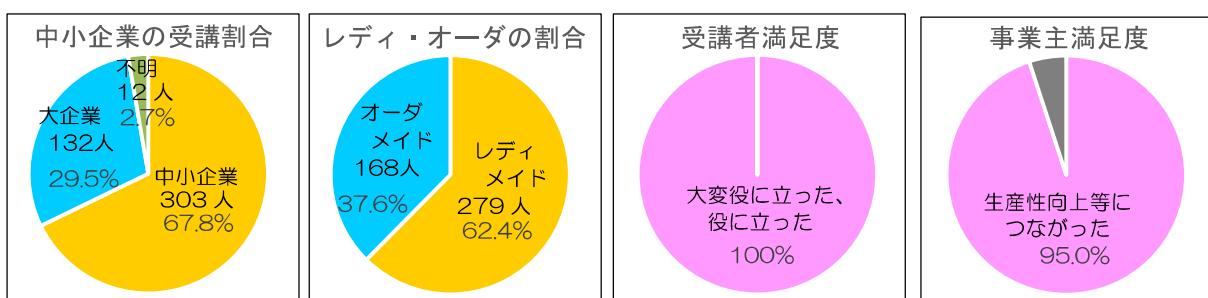
達成率
120.4%



(2) 令和7年度計画及び実績（令和7年10月末現在）

分野	計画数（年度当初）		実施状況（実績）		実施状況（見込み）	
	コース数	定員（人）	コース数	受講者（人）	コース数	受講者+申込者（人）
機械系	45	456	36	187	50	225
電気・電子系	13	130	19	177	22	200
居住系	26	260	5	16	12	22
計	84	846	60	380	84	447

達成率（見込み）
104%



※「中小企業の受講割合」の”不明”については受講料の未納付者であること。

※受講者満足度は「第2四半期」まで、事業主満足度は「第1四半期」までの速報値であること

※事業主満足度については、セミナー実施3か月後に実施することから、実績は7月以降に随時集計されること。

(3) 離職者訓練の課題について

- ① 安定的な受講者数の確保
→特に、レディメイドコースの定員充足率。

2024年度 求職者支援訓練 認定・実施状況表（最終版）

	年度当初 定員枠	(参考) 調 整後募集枠 (※)	申請状況				認定状況				実施状況				中止コース			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	② 定員	(参考) 応募者	③ 入所者数	③/② 充足率	コース数	④ 定員	応募者
基礎コース	195		16	16	215	110.3%	15	15	195	100.0%	15	195	155	135	69.2%	0	0	0
実践コース	455	0	36	36	566	124.4%	33	33	497	109.2%	28	425	473	316	74.4%	5	72	12
介護	45		2	2	25	55.6%	2	2	25	55.6%	1	10	8	8	80.0%	1	15	1
医療事務	68		3	3	40	58.8%	3	3	40	58.8%	2	25	22	19	76.0%	1	15	2
デジタル	136		7	7	112	82.4%	7	7	112	82.4%	6	100	204	91	91.0%	1	12	0
IT	68		5	5	80	117.6%	5	5	80	117.6%	5	80	177	71	88.8%	0	0	0
デザイン(WEB)	68		2	2	32	47.1%	2	2	32	47.1%	1	20	27	20	100.0%	0	0	0
営業・販売・事務	160		23	23	381	238.1%	20	20	312	195.0%	18	282	234	193	68.4%	2	30	9
その他	23		1	1	8	34.8%	1	1	8	34.8%	1	8	5	5	62.5%	0	0	0
分野共有枠	23		0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
合計	650	0	52	52	781	120.2%	48	48	692	106.5%	43	620	628	451	72.7%	5	72	12

※「調整後募集枠」とは、「前期の余剰定員」と「中止による超過分」を「当期の定員枠」に加算したものであること。（「令和6年度山形県地域職業訓練実施計画（総合計画）」等に基づく処理）

年間中止率 10.4%

認定状況【年度当初分】

目標値	100.0%
認定率	106.4% ★(小数点第2位以下四捨五入)
認定上限値	650
認定定員	692

※参考①：認定率の推移（目標値100%に対し）

	上限値	認定定員	認定率
R6年度	650	692	106.5%
R5年度	742	782	105.4%
R4年度	742	810	109.2%
R3年度	837	1,019	121.7%
R2年度	741	608	82.0%
R1年度	410	412	108.3%
H30年度	410	485	118.3%

【第1四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	60		3	3	45	75.0%	3	3	45	75.0%	3	45	38	33	73.3%			
実践コース	155	0	7	7	124	80.0%	7	7	124	80.0%	6	112	147	84	75.0%	1	12	0
介護	15				0.0%					0.0%					0.0%			
医療事務	15				0.0%					0.0%					0.0%			
デジタル	55		4	4	67	121.8%	4	4	67	121.8%	3	55	103	47	85.5%	1	12	0
IT	25		2	2	35	140.0%	2	2	35	140.0%	2	35	76	27	77.1%			
デザイン(WEB)	30		2	2	32	106.7%	2	2	32	106.7%	1	20	27	20	100.0%	1	12	0
営業・販売・事務	65		3	3	57	87.7%	3	3	57	87.7%	3	57	44	37	64.9%			
その他	5				0.0%					0.0%					0.0%			
分野共有枠	0				0.0%					0.0%					0.0%			
合計	215	0	10	10	169	78.6%	10	10	169	78.6%	9	157	185	117	74.5%	1	12	0
																当期中止率 10.0%		

※参考②：実施コースに係る定員充足率推移

	開講数	定員	入所者数	定員充足率
R6年度	43	620	451	72.7%
R5年度	42	568	448	78.9%
R4年度	43	587	399	68.0%
R3年度	34	465	298	64.1%
R2年度	27	384	245	63.8%
R1年度	28	372	252	67.7%
H30年度	27	366	231	63.1%

【第2四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	50	65	5	5	72	110.8%	5	5	65	100.0%	5	65	56	52	80.0%			
実践コース	151	182	7	7	108	59.3%	7	7	108	59.3%	6	93	102	67	72.0%	1	15	5
介護	15	30	0	0	0	0.0%				0.0%					0.0%			
医療事務	30	45	1	1	15	33.3%	1	1	15	33.3%	1	15	14	11	73.3%			
デジタル	30	30	1	1	15	50.0%	1	1	15	50.0%	1	15	38	15	100.0%	0	0	0
IT	15	15	1	1	15	100.0%	1	1	15	100.0%	1	15	38	15	100.0%			
デザイン(WEB)	15	15	0	0	0	0.0%				0.0%					0.0%			
営業・販売・事務	50	50	4	4	70	140.0%	4	4	70	140.0%	3	55	45	36	65.5%	1	15	5
その他	13	14	1	1	8	57.1%	1	1	8	57.1%	1	8	5	5	62.5%			
分野共有枠	13	13				0.0%				0.0%					0.0%			
合計	201	247	12	12	180	72.9%	12	12	173	70.0%	11	158	158	119	75.3%	1	15	5
																当期中止率 8.3%		

※参考③：年間中止率の推移

	認定数	中止数	中止率	開講率
R6年度	48	5	10.4%	89.6%
R5年度	59	4	6.8%	93.2%
R4年度	60	8	13.3%	86.7%
R3年度	73	26	13.3%	86.7%
R2年度	43	14	35.6%	64.4%
R1年度	31	3	32.6%	67.4%
H30年度	35	8	9.7%	90.3%

【第3四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	50	50	3	3	39	78.0%	3	3	39	78.0%	3	39	25	22	56.4%			
実践コース	83	169	10	10	157	92.9%	8	8	112	66.3%	7	97	105	81	83.5%	1	15	2
介護	15	38	1	1	10	26.3%	1	1	10	26.3%	1	10	8	8	80.0%			
医療事務	8	38	1	1	15	39.5%	1	1	15	39.5%					0.0%	1	15	2
デジタル	30	57	1	1	15	26.3%	1	1	15	26.3%	1	15	35	15	100.0%	0	0	0
IT	15	15	1	1	15	100.0%	1	1	15	100.0%	1	15	35	15	100.0%			
デザイン(WEB)	15	42			0.0%				0.0%						0.0%			
営業・販売・事務	30	30	7	7	117	390.0%	5	5	72	240.0%	5	72	62	58	80.6%			
その他	0	6			0.0%				0.0%						0.0%			
分野共有枠	0	0			0.0%				0.0%						0.0%			
合計	133	219	13	13	196	89.5%	11	11	151	68.9%	10	136	130	103	75.7%	1	15	2

※参考④：年度別・四半期別中止率内訳（参考③内訳）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
R6年度	10.0%	8.3%	9.1%	13.3%
R5年度	7.7%	0.0%	17.6%	6.7%
R4年度	15.4%	23.1%	14.3%	5.0%
R3年度	30.4%	69.6%	20.0%	5.9%
R2年度	28.6%	0.0%	72.2%	101.4%
R元年度	12.5%	20.0%	0.0%	14.3%
H30年度	22.2%	25.5%	0.0%	27.3%

■サポート講習実施状況

テーマ：受講者募集の動向とポイント（プロモーション編）

実施日：R6.10.18（金）

受講者数：実施機関10名、局・HW6名

■巡回訪問実施件数（2025.3月末）

令和6年度目標値	100.0%
巡回率	100.0%
実施必要件数	144
巡回件数	144
（うち抜き打ち）	45

【第4四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	35	46	5	5	59	128.3%	4	4	46	100.0%	4	46	36	28	60.9%			
実践コース	66	153	12	12	177	115.7%	11	11	153	100.0%	9	123	119	84	68.3%	2	30	5
介護	0	23	1	1	15	65.2%	1	1	15	65.2%					0.0%	1	15	1
医療事務	15	48	1	1	10	20.8%	1	1	10	20.8%	1	10	8	8	80.0%			
デジタル	21	31	1	1	15	48.4%	1	1	15	48.4%	1	15	28	14	93.3%	0	0	0
IT	13	13	1	1	15	115.4%	1	1	15	115.4%	1	15	28	14	93.3%			
デザイン(WEB)	8	18			0.0%				0.0%						0.0%			
営業・販売・事務	15	30	9	9	137	456.7%	8	8	113	376.7%	7	98	83	62	63.3%	1	15	4
その他	5	11			0.0%				0.0%						0.0%			
分野共有枠	10	10			0.0%				0.0%						0.0%			
合計	101	199	17	17	236	118.6%	15	15	199	100.0%	13	169	155	112	66.3%	2	30	5

当期中止率 13.3%

2025年度 求職者支援訓練 認定・実施状況表 (10月31日現在)

認定状況【年度当初分】

	年度当初 定員枠	(参考) 調 整後募集枠 (※)	申請状況				認定状況				実施状況				中止コース			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	② 定員	(参考) 応募者	③ 入所者数	③/② 充足率	コース数	④ 定員	応募者
基礎コース	195		10	10	127	65.1%	7	7	88	45.1%	4	49	46	38	77.6%	2	27	0
実践コース	455		43	43	624	137.1%	31	31	436	95.8%	25	336	415	261	77.7%	2	40	9
介護	45		2	2	28	62.2%	2	2	28	62.2%	1	10	7	6	60.0%	0	0	0
医療事務	68		2	2	27	39.7%	1	1	12	17.6%	1	12	7	6	50.0%	0	0	0
デジタル	136		16	16	241	177.2%	12	12	178	130.9%	9	123	175	96	78.0%	2	40	9
IT	68		6	6	93	136.8%	5	5	80	117.6%	4	60	73	48	80.0%	1	20	4
デザイン(WEB)	68		10	10	148	217.6%	7	7	98	144.1%	5	63	102	48	76.2%	1	20	5
営業・販売・事務	160		23	23	328	205.0%	16	16	218	136.3%	14	191	226	153	80.1%	0	0	0
その他	23		0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
分野共有枠	23		0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
合計	650		53	53	751	115.5%	38	38	524	80.6%	29	385	461	299	77.7%	4	67	9

※「調整後募集枠」とは、「前期の余剰定員」と「中止による繰認分」を「当初の定員枠」に加算したものであること。(「令和7年度山形県地域職業訓練実施計画」等に基づく処理)

年間中止率 10.5%

目標値	100.0%
認定率	80.6% ★(小数点第2位以下切替)
認定上限値	650
認定定員	524

※参考①: 認定率の推移 (目標値100%に対し)

	上限値	認定定員	認定率
R7年度	650	524	80.6%
R6年度	650	692	106.4%
R5年度	742	782	105.3%
R4年度	742	810	109.1%
R3年度	837	1019	121.7%
R2年度	741	608	82.0%
R1年度	410	412	100.4%

【第1四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	60		3	3	40	66.7%	3	3	40	66.7%	2	25	27	22	88.0%	1	15	0
実践コース	158	0	14	14	199	125.9%	12	12	158	100.0%	11	138	189	111	80.4%	1	20	4
介護	15				0.0%					0.0%					0.0%			
医療事務	15		1	1	12	80.0%	1	1	12	80.0%	1	12	7	6	50.0%			
デジタル	55		5	5	75	136.4%	4	4	55	100.0%	3	35	55	29	82.9%	1	20	4
IT	25		2	2	35	140.0%	2	2	35	140.0%	1	15	19	14	93.3%	1	20	4
デザイン(WEB)	30		3	3	40	133.3%	2	2	20	66.7%	2	20	36	15	75.0%			
営業・販売・事務	65		8	8	112	172.3%	7	7	91	140.0%	7	91	127	76	83.5%			
その他	8				0.0%					0.0%					0.0%			
分野共有枠	0				0.0%					0.0%					0.0%			
合計	218	0	17	17	239	109.6%	15	15	198	90.8%	13	163	216	133	81.6%	2	35	4
																		当期中止率 13.3%

※参考②: 実施コースに係る定員充足率推移

	開講数	定員	入所者数	定員充足率
R7年度	29	385	299	77.7%
R6年度	43	627	451	71.9%
R5年度	42	568	448	78.9%
R4年度	43	587	399	68.0%
R3年度	34	465	298	64.1%
R2年度	27	384	245	63.8%
R1年度	28	372	252	67.7%

【第2四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	50	70	3	3	36	51.4%	3	3	36	51.4%	2	24	19	16	66.7%	1	12	0
実践コース	148	148	10	10	146	98.6%	10	10	146	98.6%	10	146	168	114	78.1%	0	0	0
介護	15	15			0.0%					0.0%					0.0%			
医療事務	30	30			0.0%					0.0%					0.0%			
デジタル	30	30	5	5	73	243.3%	5	5	73	243.3%	5	73	91	53	72.6%	0	0	0
IT	15	15	2	2	30	200.0%	2	2	30	200.0%	2	30	25	20	66.7%			
デザイン(WEB)	15	15	3	3	43	286.7%	3	3	43	286.7%	3	43	66	33	76.7%			
営業・販売・事務	50	50	5	5	73	146.0%	5	5	73	146.0%	5	73	77	61	83.6%			
その他	10	10			0.0%					0.0%					0.0%			
分野共有枠	13	13			0.0%					0.0%					0.0%			
合計	198	218	13	13	182	83.5%	13	13	182	83.5%	12	170	187	130	76.5%	1	12	0
																		当期中止率 7.7%

※参考③: 年間中止率の推移

	認定数	中止数	中止率	開講率
R7年度	38	4	10.5%	89.5%
R6年度	48	5	10.4%	89.6%
R5年度	59	4	13.3%	86.7%
R4年度	60	8	13.3%	86.7%
R3年度	73	26	35.6%	64.4%
R2年度	43	14	32.6%	67.4%
R1年度	31	3	9.7%	90.3%

【第3四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	50	50	2	2	24	48.0%	1	1	12	24.0%					0.0%			
実践コース	83	154	9	9	132	85.7%	9	9	132	85.7%	4	52	58	36	69.2%	1	20	5
介護	15	30	2	2	28	93.3%	2	2	28	93.3%	1	10	7	6	60.0%			
医療事務	8	10			0.0%					0.0%					0.0%			
デジタル	30	50	3	3	50	100.0%	3	3	50	100.0%	1	15	29	14	93.3%	1	20	5
IT	15	35	1	1	15	42.9%	1	1	15	42.9%	1	15	29	14	93.3%			
デザイン(WEB)	15	15	2	2	35	233.3%	2	2	35	233.3%					0.0%	1	20	5
営業・販売・事務	30	30	4	4	54	180.0%	4	4	54	180.0%	2	27	22	16	59.3%			
その他	0	0			0.0%				0.0%						0.0%			
分野共有枠	0	34			0.0%				0.0%						0.0%			
合計	133	204	11	11	156	76.5%	10	10	144	70.6%	4	52	58	36	69.2%	1	20	5

※参考④：年度別・四半期別中止率内訳（参考③内訳）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
R7年度	13.3%	7.7%	10.0%	#DIV/0!
R6年度	10.0%	8.3%	9.1%	6.7%
R5年度	7.7%	0.0%	17.6%	6.7%
R4年度	15.4%	23.1%	14.3%	5.0%
R3年度	30.4%	69.6%	20.0%	5.9%
R2年度	28.6%	0.0%	72.2%	101.4%
R元年度	12.5%	20.0%	0.0%	14.3%

■サポート講習実施状況

テーマ：受講者募集の動向とポイント（メッセージ欄）

実施日：11月21日(金)

受講者数：

■巡回訪問実施件数（2025.10月末）

令和7年度目標値	100.0%
巡回率	100.0%
実施必要件数	92
巡回件数	92
(うち抜き打ち)	26

【第4四半期】

	年度当初 定員枠	調整後 募集枠	申請状況				認定状況				実施状況 (※)				中止コース (※)			
			機関数	コース数	定員	枠充足	機関数	コース数	定員	枠充足	開講コース	定員	応募者	入所者数	充足率	コース数	定員	応募者
基礎コース	35	35	2	2	27	77.1%				0.0%					0.0%			
実践コース	66	138	10	10	147	106.5%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
介護	0	0			0.0%				0.0%						0.0%			
医療事務	15	15	1	1	15	100.0%				0.0%					0.0%			
デジタル	21	21	3	3	43	204.8%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
IT	13	13	1	1	13	100.0%			0.0%						0.0%			
デザイン(WEB)	8	8	2	2	30	375.0%			0.0%						0.0%			
営業・販売・事務	15	15	6	6	89	593.3%			0.0%						0.0%			
その他	5	5			0.0%				0.0%						0.0%			
分野共有枠	10	82			0.0%				0.0%						0.0%			
合計	101	173	12	12	174	100.6%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0	0	0

当期中止率 #DIV/0!

生産性向上支援訓練の実績(令和6年度実績と令和7年度速報値(令和7年10月末現在))

■令和6年度実績

区分	訓練計画数	実施コース数	受講者数
生産性向上支援訓練	690人	139コース	1,431人
DX対応コース	180人	35コース	317人
ミドルシニアコース	50人	24コース	302人
サブスク方式	25人	5コース	8人

実施方式	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーコース	77コース	881人	61.6%
オープンコース	54コース	506人	35.3%
事業取組団体方式	3コース	36人	2.5%
サブスク方式	5コース	8人	0.6%
合 計	139コース	1,431人	—

■目的別実施コース数(令和6年度実績と令和7年度速報値)

訓練目的	令和6年度	令和7年度
生涯キャリア形成	24コース	16コース
情報発信	6コース	6コース
生産管理	15コース	7コース
組織マネジメント	41コース	31コース
データ活用	25コース	15コース
バックオフィス	11コース	14コース
その他※	17コース	13コース
合 計	139コース	102コース

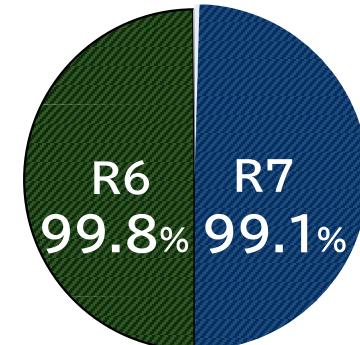
※:営業販売、ネットワーク、品質保証・管理、プロモーション、マーケティング、サブスク他

■令和7年度速報値

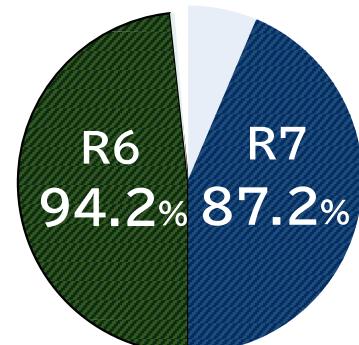
区分	訓練計画数	実施コース数	受講者数
生産性向上支援訓練	730人	102コース	1,098人
DX対応コース	220人	29コース	302人
ミドルシニアコース	50人	16コース	157人
サブスク方式	25人	3コース	15人

実施方式	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーコース	45コース	589人	53.6%
オープンコース	53コース	479人	43.6%
事業取組団体方式	1コース	15人	1.4%
サブスク方式	3コース	15人	1.4%
合 計	102コース	1,098人	—

■受講者満足度及び事業主生産性向上度

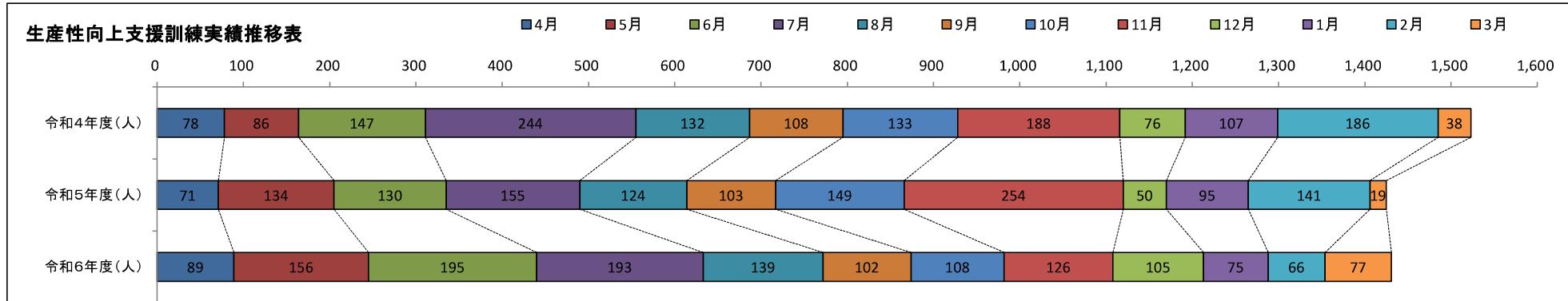


受講者満足度



事業主生産性向上度

令和6年度生産性向上支援訓練の実績確保に向けたアクションプラン(実績&計画数シート)



令和4～令和6年度の実績の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	施設行動計画	達成率
令和4年度(人)	78	86	147	244	132	108	133	188	76	107	186	38	1,523	600	253.8%
令和5年度(人)	71	134	130	155	124	103	149	254	50	95	141	19	1,425	650	219.2%
令和6年度(人)	89	156	195	193	139	102	108	126	105	75	66	77	1,431	690	207.4%

令和6年度計画・実績

1. オーダーコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数	1	3	9	14	9	6	6	8	7	6	4	7	80
計画数(人)	18	64	91	136	113	86	78	88	74	57	46	56	907
実績(人)	18	64	91	99	113	78	78	88	77	55	45	75	881

実績	計画数(目標値)	コース数	受講者数	達成率
生産性向上支援訓練	690 人	139 コース	1,431 人	207.4%
うちDX	180 人	35 コース	317 人	176.1%
うちミドル	50 人	24 コース	302 人	604.0%
うちサブスク	25 人	5 コース	8 人	32.0%

2. オープンコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数	8	10	10	7	4	5	3	3	2	2	2	0	56
申込数(人)	73	98	101	92	26	24	30	17	25	18	21	0	525
実績(人)	71	92	101	94	26	24	30	17	12	18	21	0	506

3. 事業取組団体方式

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数							2	1					3
計画数(人)							20	16					36
実績(人)							20	16					36

4. サブスクリプション方式

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数													0
計画数(人)	3						1	2		2			8
実績(人)		3					1			2		2	8

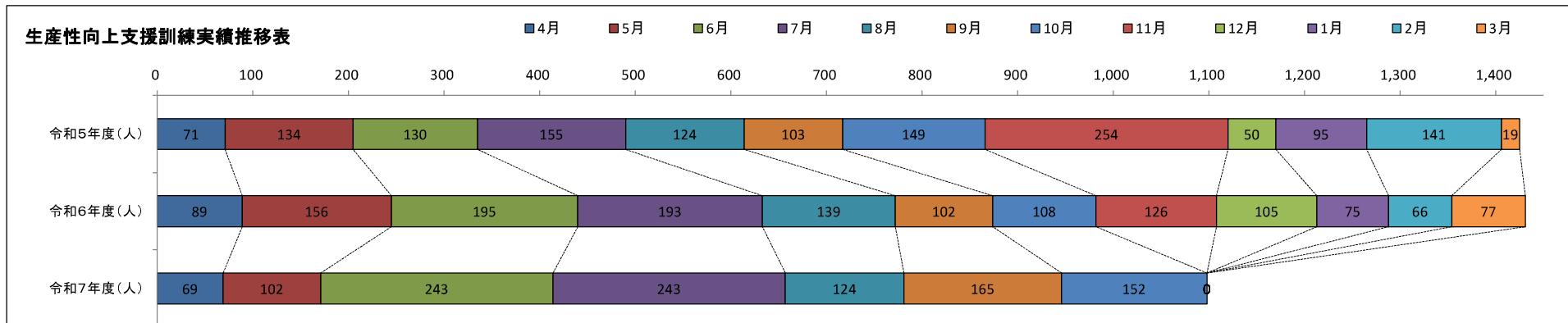
令和6年度の計画(①+③+⑤+⑦)、受講者実績(②+④+⑥+⑧)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
申込数(人)	91	162	199	198	140	110	109	127	115	77	67	56		1,451
実績(人)	89	156	195	193	139	102	108	126	105	75	66	77		1,431

作成日：令和7年3月31日時点

施設名：山形職業能力開発促進センター

令和7年度生産性向上支援訓練の実績確保に向けたアクションプラン(実績&計画数シート)



令和5～令和7年度の実績の推移

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	施設行動計画	達成率
令和5年度(人)	71	134	130	155	124	103	149	254	50	95	141	19	1,425	650	219.2%
令和6年度(人)	89	156	195	193	139	102	108	126	105	75	66	77	1,431	690	207.4%
令和7年度(人)	69	102	243	243	124	165	152	0	0	0	0	0	1,098	730	150.4%

令和7年度計画・実績

1. オーダーコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
訓練コース数	1	2	6	5	3	2	3	1	1	1	1	0		26
計画数(人)	8	12	50	70	50	34	26	8	6	12	12	0		288
実績(人)	8	6	89	150	63	124	84							524

1. 実績	計画数(目標値)	コース数	受講者数	達成率
生産性向上支援訓練	730 人	102 コース	1,098 人	150.4%
うちDX	220 人	29 コース	302 人	137.3%
うちミドル	50 人	16 コース	157 人	314.0%
うちサブスク	25 人	3 コース	15 人	60.0%

2. オープンコース

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数	8	10	12	9	7	7	7	3	1	0	0	0	64
計画定員(人)	80	100	120	90	70	70	70	30	10	0	0	0	640
実績(人)	61	96	154	78	61	26	68						544

2. 実施見込み	計画数(目標値)	コース数	受講者数	達成率(見込み)
生産性向上支援訓練	730 人	127 コース	1,338 人	183.3%
うちDX	220 人	36 コース	356 人	161.8%
うちミドル	50 人	24 コース	247 人	494.0%
うちサブスク	25 人	7 コース	21 人	84.0%

3. 事業取組団体方式

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
訓練コース数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
計画数(人)	0	0	0	15	0	0	0	15	0	0	0	0	0	30
実績(人)	0	0	0	15	0	0	0							15

4. サブスクリプション方式

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練コース数	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	5
計画数(人)	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	5	25
実績(人)	0	0	0	0	0	15	0						15

令和7年度の計画、受講者実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	未定	合計
計画数(人)	88	112	170	175	120	104	106	53	26	12	12	5	0	983
実績(人)	69	102	243	243	124	165	152	0	0	0	0	0		1,098

資料3

山形労働局

【公的職業訓練効果の把握・検証結果について】

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ実施要領

1 目的

公的職業訓練効果検証ワーキンググループ（以下「WG」という。）は、適かつ効果的な職業訓練を実施していくため、個別の訓練コースについて、訓練修了者や採用企業からのヒアリングも含め、訓練効果を把握・検証し、訓練カリキュラム等の改善を図ることとする。

2 WGの構成員

「山形県地域職業能力開発促進協議会設置要綱策定要領」の1（3）の構成員のうち、都道府県労働局、都道府県及び独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構とし、必要に応じて、地域職業能力開発促進協議会（以下「協議会」という。）構成員の中から任意の者を追加する。

なお、協議会の構成員として委任した者と同一のものとする必要はなく、構成員の機関・団体の職員等で差し支えないが、協議会の事務に従事する者として、正当な理由なく、協議会の事務に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

3 検証手法

検証手法は、公的職業訓練の訓練修了者、訓練修了者の採用企業及び訓練実施機関に対するヒアリングにより行うものとする。

なお、各種データの統計処理による分析については、訓練カリキュラムの改善に資する場合に限り各協議会で実施することも可能であるが、都道府県労働局職員以外の者が直接関わって分析を実施する場合は、①分析するデータの種類・範囲、②分析手法、③分析の実施者等を明らかした上で、事前に、本省に協議すること。

4 WGの具体的な進め方

（1）検証対象コースの選定

ア 予め協議会にて検証対象となる訓練分野を選定しておき、WGでは当該訓練分野の中で訓練修了者が比較的多い訓練コースを3コース（ただし、異なる訓練実施機関が実施すること。）以上選定すること。

イ 検証対象は、アで選定したコースの訓練実施機関と、各訓練コースにつき訓練修了者1人以上、当該訓練修了者を採用した採用企業1社以上とする。具体的には、3コースを選定すると、訓練実施機関3者、訓練修了者3人以上及び採用企業3社以上が対象となる。

なお、ヒアリングの対象とする訓練修了者の選定にあたっては、同一の性別又は年齢層に偏らないよう配慮すること。

その他、就職氷河期世代、就職困難者、ひとり親等といった様々な事情を抱える方々について検証することも有意義であることから、訓練修了者のうちの一人は、例えば離職期間が長い、離転職を繰り返している等の履歴のある者をできる限り選定することが望ましい。

(2) ヒアリングの内容等

ア ヒアリングは直接又は web 会議のいずれでも差し支えない。

イ ヒアリング内容は以下の項目を必須とし、協議会独自に質問項目を追加しても差し支えない。

① 訓練実施機関へのヒアリング

- ・訓練実施にあたって工夫している点
- ・訓練実施機関が行っているキャリアコンサルティングの状況
- ・訓練実施にあたっての国への要望、改善して欲しい点

② 訓練修了者へのヒアリング

※訓練機関の接遇など、受講中の満足度ではないことに留意。

- ・訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの
- ・訓練内容のうち、就職後にあまり活用されなかったもの
- ・就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等

③ 訓練修了者を採用した企業へのヒアリング

- ・訓練により得られたスキル、技能等のうち、採用後に役に立っているもの
- ・訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等
- ・訓練修了者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること（同程度の経験等を有する者同士を比較。採用事例がない場合は想定）

(3) ヒアリングを踏まえた効果検証等

(2) のヒアリングを踏まえ、調査した訓練コースを含む分野全体において、訓練効果が期待できる内容及び訓練効果を上げるために改善すべき内容について整理する。

(4) 効果検証結果を踏まえた検討

(3) の効果検証結果を踏まえ、訓練カリキュラム等の改善促進策（案）等を検討し、協議会への報告事項を整理する。

【訓練カリキュラムの改善促進策（例）】

○ 委託訓練について、

- ・説明会資料又は委託要綱等の内容に追加
- ・公募条件又は入札の加点要素として付加

○ 汎用性の高い訓練（就職支援）内容について、

- ・求職者支援訓練において、訓練実施期間中に独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う実施状況の確認の際に周知
- ・申請・認定事務の際に周知
- ・求職者支援訓練の実施機関開拓の際に周知

(5) 協議会への報告

WGの効果検証結果及び訓練カリキュラムの改善促進策（案）等については協議会に報告する。

ヒアリング対象の訓練分野

介護人材の不足が課題となっており、求職者支援訓練、委託訓練とも就職率は高いものの、応募者数が低調である「介護分野」について、介護人材育成のため訓練受講者の増加への取組みが課題となっていることから3コースを選定し、訓練効果を把握・検証の対象とした。

情報収集（ヒアリング）実施状況

- ヒアリング実施時期 令和7年8月～9月
- ヒアリング実施者 山形県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山形支部、ハローワーク、山形労働局
- ヒアリング先
 - ①職業訓練実施機関 3機関（中小企業）
 - 公共職業訓練（委託訓練） 2機関・・・村山地方、最上地方
 - 求職者支援訓練 1機関・・・置賜地方
 - ②職業訓練受講者採用企業 9社（中小企業等）・・・山形県内
 - ③職業訓練修了者 21名（②に就職した者含む）
 - ※多角的な検証を行うよう訓練修了者全員を対象とし、関連就職者に加え、関連職種以外の就職者及び未就職者へのヒアリングも実施した。
- ヒアリング対象訓練カリキュラム（下記3コース）

検証対象訓練カリキュラム

〔介護サービス科（実施機関①）〕

カリキュラム			時間
初任者研修 課程	講義	職務の理解、介護における尊厳の保持・自立支援、介護の基本、介護・福祉サービスの理解と医療との連携、介護におけるコミュニケーション技術、老化の理解、認知症の理解、障がいの理解、こころとからだのしくみと生活支援技術、振り返り	62H
	演習	こころとからだのしくみと生活支援技術	38H
	実習	特別養護老人ホーム等における施設実習、小規模多機能型実習、老人デイサービスセンター等見学	32H
学科	精神・発達障害の理解	精神・知的・発達障害の各疾患概念の理解、ICFの理解、福祉との関連性、コミュニティ・ケアの在り方等	30H
	パソコンの基礎知識	コンピュータの構成、ソフトウェアとOS、ファイル管理、インターネット	6H
	文書作成基礎	文書作成の基礎知識、文書作成ソフトウェアの機能と役割、文書作成の方法	12H
	表計算基礎	表計算の基礎知識、表計算ソフトウェアの機能と役割、表計算作成の方法	18H
	プレゼンテーション	プレゼンテーションの基礎知識、プレゼンテーションソフトウェアの機能と役割、スライドの作成方法	12H
	デジタルリテラシー	DX関連知識、リスクマネジメント、データの取扱におけるプライバシー関連リスクと対策、情報資産管理	5H
	パソコンの基本操作	OSの基本操作、マウス操作、文字入力、ファイル管理の演習、インターネット演習	6H
実技	文書作成演習	文書作成、表の作成、文書の編集、図形の描画、ビジネス文書作成	18H
	表計算演習	データの入力、表の作成、数式の入力、関数の入力、グラフの作成、データベース機能、ビジネス資料の作成	25H
	プレゼンテーション演習	スライドの作成、図形の作成と編集、スライドショー、プレゼン資料の作成	10H
	デジタルリテラシー演習	マナビDXの利用方法、プライバシー保護などに配慮したコミュニケーションの実践	5H
	就職支援他	応募書類の書き方、面接の受け方、ビジネスマナー、コミュニケーション、安全衛生等	43H
総訓練時間 322H			

〔介護サービス科（実施機関②）〕

カリキュラム			時間
介護職員 初任者研修 課程	講義	職務の理解、介護における尊厳の保持・自立支援、介護の基本、介護・福祉サービスの理解と医療との連携、介護におけるコミュニケーション技術、老化の理解、認知症の理解、障がいの理解、こころとからだのしくみと生活支援技術（講義）、振り返り、修了評価試験	74H
	演習	こころとからだのしくみと生活支援技術（演習）等	91H
介護関連研修		施設実習、普通救命救急講習、介護総合演習	46H
ビジネス能力基礎		IT基礎（ワード、エクセル）	58H
就職支援他		ビジネスマナー、コミュニケーション、応募書類の書き方、面接の受け方等	31H
総訓練時間 300H			

〔介護初任者研修科（短時間）〕

カリキュラム			時間
安全衛生	訓練実施中の安全衛生、介護労働者の安全、健康管理	3H	学科
職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解	6H	
介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	9H	
介護の基本	介護職の役割・専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	6H	
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害福祉制度及びその他制度	9H	
介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	6H	
老化の理解	老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康	6H	
認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援	6H	
障がいの理解	障がいの基礎的知識、障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・関わり支援等の基礎的知識、家族の心理・関わり支援の理解	3H	
こころとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方、介護に関するこころのしくみの基礎的知識、介護に関するからだのしくみの基礎的知識	30H	実技
就職支援	ジョブカードについて、応募書類（添え状、履歴書職務経歴書・自己PR）、面接対策	4H	
中間考査	学科の中間テスト	1H	
修了評価試験	介護職員初任者研修課程修了評価試験	2H	
こころとからだのしくみと生活支援技術（演習）	介護職員初任者研修課程（演習）	59H	
振り返り	介護技術の再確認（睡眠、整容、移動・移乗、排泄、食事介助、入浴介助等）	4H	
職場見学	介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、通所介護、居宅介護支援事業所等の見学	6H	
総訓練時間 160H			

ヒアリング実施結果概要①（職業訓練実施機関）

【質問】

訓練実施にあたって工夫している点
(カリキュラム設定等)

訓練実施にあたって工夫している点
(受講者のレベル把握について講義の進め方等)

【実施機関からの回答・ご意見】

- 企業ニーズを把握するため、介護事業所・障害者施設の職員にヒアリングを行い、カリキュラムを作成している。
- 企業（介護施設）のニーズを把握し、かつ就労後に活用できるよう、カリキュラムを作成している。
- ハローワークと連携し、求人状況等の情報を共有している。
- 施設見学で実際の介護状況を確認することができるため、内容が充実するよう打合せを入念に行っている。
- 施設見学はオンラインでも行えるようにしている。

【検討課題等】

各機関とも企業ニーズを的確に把握し、また、工夫を凝らした施設見学等により、受講者の現場理解を含め、カリキュラムの充実にも努めている。

- 受講者のレベルの差については、経験の有無を把握し、訓練の際の指導に活かしている。
- 介護初心者に対しては、介護の魅力を伝えた時の反応を見たり、就職への意欲を聞き取りし、レベルの違いを把握している。
- 受講者の習得度について、学科・演習ともに定期的に理解度テストを行い把握している。
- 習得度の低い受講生に合わせて開始し、徐々にレベルを上げるようにしている。
- 特に習得度の低い受講者に対しては、放課後や予備の時間等にヒアリングや指導を行いフォローしている。
- 受講者の受講に対する不安も可能な限り把握し、必要に応じて柔軟に対応している。

各機関とも受講者のレベル把握に努め、習得度の低い受講者に対してのフォローを含め、適切に講義を進めている。

ヒアリング実施結果概要① (職業訓練実施機関)

【質問】

キャリアコンサルティングの状況

実施にあたって国への要望、改善してほしい点

【実施機関からの回答・ご意見】

- 時間以外の相談体制を設け、希望する受講者全員に速やかに対応できるようにしている。
- 就職支援の時間などを活用し、全体的な支援と個別的な支援も実施。
- 苦情相談については、苦情担当スタッフ（訓練担当講師以外）が対面や電話での相談を受け付けており、開講時には苦情相談窓口があることを伝えている。
- キャリアコンサルタントの資格取得を目指している職員がいるため、将来的に複数の有資格者による相談体制ができると考えている。

【検討課題等】

キャリコンについては、各施設とも、相談のしやすい環境作りに努め、受講者に配慮した相談体制を構築している。

委託費及び奨励金等の増額。③
申請書類等の簡素化を要望。④

ヒアリング実施結果概要①（職業訓練実施機関）

【質問】

【実施機関からの回答・ご意見】

【検討課題等】

その他
(就職率の向上、改善
していきたいと考え
ている点等)

- 介護職への就職につなげるために、ハローワークに介護求人に
関する資料の提供を依頼し、いつでも閲覧、相談できるよう
な
環境にしている。
- 就職率の向上のため、施設実習先だけでなく他施設の求人を開
拓し説明会を開催している。また、施設見学の情報を提供し受
講者に積極的に参加しもらい、自分に合った就職先を見つける
よう促している。
- クラス全体で就職活動をしていくという雰囲気になるよう、ハ
ローワークの求人票を掲示するなど、就職活動へのモチベ
ーションを高める。
- 就職活動の状況については、就職支援の時間や空いた時間に相
談を受け、常に把握しており、その効果も見られる。
- 訓練終了後も就職相談を受けている。
- 施設実習を行う際、施設より健康診断書の提出を求められてお
り、実施日までの法定研修期間内に健康診断の受診と結果の提
出が必要であるため、スケジュール調整が困難。受講者にも多
大な協力をお願いしているため、改善していきたい。
- 訓練施設として、山形県健康優良企業等の表彰をうけているこ
とをアピールできないか。
- 現在、同地区で介護の訓練実施機関がないため、介護関連施設
と連携し、実施先を開拓してほしい。

各機関ともハローワー
クや他施設と連携を図
り、就職支援の環境整
備に努めている。
定着を見据えた受講者
のニーズに寄り添った
就職支援に努めている
が、就職率の向上にむ
けた更なる取組はない
か。⑤

地域に介護訓練の実施
機関が少ないため、開
拓を要望。

ヒアリング実施結果概要② (職業訓練受講者採用企業)

【質問】

訓練により得られたスキル、技能等のうち、採用後に役立っているもの、または仕事で使用しないスキル等

訓練において、より一層習得しておくことが望ましいスキル、技能等

訓練受講者の採用について、未受講者（未経験者）の採用の場合と比較して期待していること、また課題等

【採用企業からの回答・ご意見】

- 介護職員初任者研修課程の全般
- パソコン操作に係る基礎的な入力等のスキル
- 自立支援、介護福祉サービスの理解、コミュニケーション技術
- 実技（現場で即戦力として活躍できている）
- プрезентーションに関してはすぐに使用するものではない。

- 介護保険、障害福祉サービスの制度の概要
- アンガーマネジメント（自分の感情をコントロールしコミュニケーションをとることの大切さ）
- 一般常識的な接遇マナー
- 特に「認知症の理解」「障がいの理解」は重要であり、理解が不足していると「虐待」に繋がり、また自身も苦労してしまう。
- 自立支援の考え方
- 実習・職業体験の機会を増やすことが望ましい。
- パソコン（Word、Excel）の基礎知識
- 社会福祉に係る基本的な知識・常識・スキル

- 介護に関する基本的な知識を有しており、即戦力としての期待が高い。
- 就業意欲の高さ。責任力。仕事に対する適応能力。忍耐力。
- 自立支援を踏まえて支援できること。
- 利用者への丁寧な態度、言葉遣いができること。
- パソコン（Word、Excel）を使用できること。
- 学んだことと現場の実情との違いに驚きや戸惑いが生じるため、実際の高齢者の状態を擬似的に体験できれば、現実との差が生じないのではないか。
- 実技や職場見学を通じて、自身の適正を把握できるようにすることが重要。

【検討課題等】

今回聴取した9社においては、即戦力としてスキルが活かされており、総じてスキルについて不足は無い。

5社より、コミュニケーションや接遇スキル習得の要望あり。

カリキュラム設定の必要性について課題はないか。②

2社より、実習のカリキュラムを増やしてほしいとの要望あり。①

即戦力としての期待度が高いため、受講内容（特に演習・実習）と現場との差をいかに解消を図るかが課題。①

ヒアリング実施結果概要③ (訓練受講者・関連就職者)

【質問】

介護関連に就職をしようと決めた理由

- 親族の介護を経験し興味を持った。
- 資格取得ができれば就職しやすいと思った。
- 以前から介護職に興味があった。
- 人と関わる仕事、人の役に立つ仕事に就きたいと思った。
- 介護職にやりがいを感じた。
- 介護職が人材不足であり、失業のリスクが低いと考えた。

訓練内容のうち、就職後に役に立ったもの

- 介護職員初任者研修課程
- 精神・発達障害の理解
- パソコン (Word, Excel) の基礎知識
- 介護実務の演習 (移乗、入浴介助などの様々な介助)
- 笑顔で接する、声かけ等のコミュニケーションの基本

訓練内容のうち、就職後におあまり活用されなかつたもの

- プレゼンテーションの演習
- 介護システムはWordを使用するためExcelの演習は不要と感じた。

就職後に感じた、訓練で学んでおくべきであったスキル、技能等

- 移乗動作 (車椅子の方の移乗、二人で行う移乗方法)
- 介護実務の演習をもっと増やし、しっかり学びたかった。
- 高齢者に多い病気・高齢者特有の内容について多く知りたいと思った。
- 介護独特なコミュニケーションスキルが必要と感じた。 (介助の際に、利用者から痛みを訴えられたり、叱責を受けたりした時の対応方法、なだめ方等)

【受講者からのご意見】

【検討課題等】

当初から介護職に興味のある受講者が多い。更なる介護分野の理解促進と、求職者への積極的な情報提供が必要。
⑥

就職者においても受講で身についた知識が活かされている。

左記のあまり活用されなかったカリキュラム等について、必要性に課題はないか。①

訓練受講による知識は活かしているものの、実務においては不安を抱える者が多い。①

ヒアリング実施結果概要③ (訓練受講者・関連以外就職者、未就職者)

【質問】

介護関連以外に就職を決めた理由・就職していない理由

介護関連に就職しなかった理由

介護の訓練を受けようと思った理由、受講しての感想

公的職業訓練制度に対しての感想・意見等

【受講者からのご意見】

- 夜勤ができないため
- 親族の介護のため
- 持病により、現在就業が難しいと判断したため。
- 年齢と体力的な部分で出来ることが限られ、事業所の要求と合わず、応募に至らなかった。
- 前職の経験が活かせる介護施設の送迎に関する求人があったため。
- さらなる目標のため実務者研修、介護福祉士の資格を目指すため。

- 実習、見学等で自分には適性がないと思ったため。
- デイサービスのレクリエーション活動を体験してみて自分にはできそうにないと思った。
- 早朝勤務、夜勤等、交代制のところが多いため。
- 親族の介護や持病により現在は難しいが、将来的には就職したい。

- 資格を取得し介護職に就きたいと思った。受講して良かったと実感している。
- 介護の経験から興味を持ったが、介護職の難しさを実感した。
- 年齢的に介護業務は難しいと思ったが、資格取得し補助的な仕事に就きたいと思った。
- 人と直接的に関わる介護職に興味があり、手に職をつけたいと資格を取得したかった。受講し資格を得て自信につながった。
- たまたまチラシを見て、パソコン操作も教えてもらえると知ったから。
- 就職に困っている人はたくさんいるため、このような制度は広く周知してほしい。
- 全くの異業種からの転職はかなり勇気がいるが、この制度を利用すれば資格も得られ就職の選択肢も広がったため、受講を検討している方にはぜひ勧めたい。

【検討課題等】

関連職種以外の就職者及び未就職者においては、夜勤や体力など、自身の事情により就職できない者が多い。また、将来的には介護関連職種への就職を希望し、更なるスキルアップを目指す者もいる。

⑥

訓練を受講して良かったという感想が大半。

職業訓練制度を広く周知してほしい要望あり。

⑥

ヒアリング結果を踏まえた今後の対応について（案）

ヒアリング結果を踏まえて、今後、以下のような取組を行う予定。

＜カリキュラム設定＞

- ・訓練受講者採用企業、また受講者ともに、実務については不足を感じている。そのため、実務に関するカリキュラム構成に課題はないか。また、あまり活用されなかったカリキュラム内容について、時間の割り振り及び訓練時間の設定は適切か。①
- ・介護に必須とする訓練カリキュラム以外にもコミュニケーションや接遇スキルを身につけるカリキュラムの設定または取り組みを強化して実施する必要があるのではないか。②

＜訓練機関からの要望＞

- ・訓練コスト上昇に伴う委託費・奨励金等の増額。③
- ・認定申請書等実施に係る関係書類の簡素化。④

＜就職率の向上＞

- ・各機関とも様々な工夫をしているが、就職率の向上を目指し、更なる取り組みはないか。⑤

＜周知＞

- ・介護職に興味を持つ求職者への訓練情報が確実に届く取り組みはないか。
- ・訓練後に本人の事情により就職できない者が多いため、適切な受講あっせんができないか。⑥

●訓練受講者採用企業、また受講者ともに、訓練受講により身についての知識は役立っているが、実務については現実との差を感じている。そのため、より実践的な介護実務の演習を増やすことの検討が必要。①

●企業によっては、専門的な分野の知識だけではなく、コミュニケーションスキルや接遇マナーの習得を求めていため、訓練内容に的確に反映させることも必要である。②

●令和7年度から公共職業訓練（委託訓練）の知識等習得コース及び求職者支援訓練の委託費等の単価を1人当たり月3,000円引き上げとなつたが、更なる増額を厚生労働省へ上申。③

●申請書類等の簡素化を厚生労働省へ上申。④

●実施機関だけでは、就職率の向上を図ることは難しく、ハローワークとの連携は不可欠である。ハローワークで実施している「求職者担当者制」により訓練修了者への就職支援を推進していく。また、求人の確保も重要であり「訓練修了者歓迎求人」や関連職種の「未経験者歓迎求人」「労働条件」等の求人条件緩和の取組みを併せて推進していく。⑤

●職業相談部門とのより一層の連携やSNS等を活用した周知を積極的に行っていく。また、求職者が自分のレベルを理解し、希望する職業に就職ができる訓練であることを見極めることができるよう、詳細な訓練情報を訓練説明会や募集チラシに盛り込んでいく。⑥

デジタル人材育成のハロートレーニング（公的職業訓練）の周知とアンケート調査の実施について

IT・デジタル分野の職業訓練については、応募倍率は高いものの、就職率が低い状況となっている。これについては、製造等の分野と違い、行政との関係性が今ひとつの企業も多いからではないかとの意見があった。

このため、IT・デジタル企業への職業訓練制度の周知と併せて、認知度やカリキュラム内容等についての意見・要望等のアンケート調査を実施した。

周知・アンケート調査の実施状況

○実施時期 令和7年8月

○対象企業 山形県内 IT・デジタル関連企業 102社

○実施方法 郵送により周知 回答はWEBCASによる

○アンケートへの回答 18社

【アンケート内容】

- ① ハロートレーニング（公的職業訓練）を知っていますか
- ② ハロートレーニングのカリキュラムは適切か
- ③ 訓練修了者の採用について
- ④ デジタル人材について、特に必要と考えるスキルや求める人物

令和7年7月28日

IT・デジタル関連事業所
採用担当者各位

デジタル人材育成のハロートレーニング（公的職業訓練）充実に係る
アンケート調査と訓練修了者の採用について（お願い）

職業安定行政の推進につきましては、日頃より格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。
さて、デジタル・トランスフォーメーションの急激な進展により、デジタル人材の育成は国の重要な課題となっており、当局においては、山形県、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構と連携し、重点分野としてハロートレーニング（公的職業訓練）を計画、実施しております。
今後、より効果的な訓練カリキュラムとするため、ITデジタル関連事業所の皆さまに、下記によるアンケート調査に協力いただきたくお願い申し上げます。
また、デジタル関連訓練修了者（昨年度は県内で約60名が訓練を修了しております）の採用につきまして、未経験者も含め幅広くご検討いただき併せてお願ひ申し上げます。具体的には、ハローワークに求人募集を提出の際、担当窓口にご相談いただく、または、求人票に「訓練修了者歓迎」を記載など配慮いただければ幸いです。

記

1 アンケート内容
同封しました3コースの訓練カリキュラムを参照いただき、その内容などにつきましてアンケートにご協力ををお願い申し上げます。

2 アンケート回答方法
右の二次元コードよりWEBCASにアクセスいただき、8月8日（金）までの回答にご協力ををお願い申し上げます。
<https://jsite.mhlw.go.jp/form/pub/roudou06/kunren-research>

アンケート用二次元コード

※ハロートレーニング（公的職業訓練）とは、仕事をお探しの方を対象とした「無料の職業訓練制度」です。
キャリアアップや希望する就職を実現するために必要な職業スキルを習得することが出来る公的制度です。

ハロートレーニング
特設ホームページ

ハロートレーニング
山形がぼ学べ

山形労働局職業安定部訓練課
担当 小林、加藤、石山
TEL 023-626-6106

アンケート回答の概要

【質問】

①ハロートレーニングを知っていますか

- | | |
|------------|------|
| ● 知っている | 33 % |
| ● 聞いたことがある | 28 % |
| ● 知らない | 39 % |

②カリキュラムは適切か

- | | |
|-------|------|
| ● 適切 | 89 % |
| ● 不十分 | 11 % |

③訓練修了者の採用について

- | | |
|---------|------|
| ● 採用したい | 6 % |
| ● 検討できる | 72 % |
| ● 難しい | 22 % |

④デジタル人材について、特に必要と考えるスキルや求める人物

- コミュニケーション能力の高い人材。
- 手段としてITツールを活用でき、適正のある人材であれば採用が十分期待できる。
- 実務において基礎的スキルがあり、ステップアップを望む者。
- プライベートの時間を1日1時間でも勉強に使おうという意識がある者。会社で教えてもらおうという意識の人はこの業界でやっていけないのでないのではないか。
- システムを開発するにあたっては、他人事を自分の事のように考えて行動できる人でないと、気配りや融通が利かないシステムを作ってしまう。
- DXへの取り組みを積極的に行う者。
- 何か1つ、自信になる言語を身につけることが大事と考える。

【企業からの回答】

【企業からのご意見・自由記述】

- インストラクターとして関わったことがある。
- 民間委託をしているというイメージがある。

- 統合開発環境での実践があればなお良い。
- 訓練の内容としては良いと思う。
- 実技については、成果物に対する評価をしたら良いと思う。
- Javaを取り入れているのが良い。プログラミングにはインフラ(Linux等)も大きく関わるので、それらも学習できるとさらに良い。

- 採用したい職種
SE、プログラマー、ITエンジニア、WEBデザイナー、コーダー、Webサイト制作、Webシステム開発、サーバー・ネットワーク管理